

第 69 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 6 年 4 月 18 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第 69 回 定例理事会 議事録 (正)

日 時 : 令和 6 年 4 月 18 日 (木) 13:30~15:50

場 所 : JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL : 03-5289-8858

出席理事 : 伊東 正示 会長、
清水 康裕 副会長 (財務担当)、
西村 岩夫 副会長 (総務担当・事業担当代理)、
小川 幹雄 理事 (国際渉外担当)、
青野 時彦 理事、
中川 堅司 専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)

Web 出席理事 : 西 豊彦 理事 (コンプライアンス担当)、
西奈美 博 理事、長谷川 祥久 理事、森 健輔 理事、横井 裕 理事

出席監事 : 尾澤 輝行 (Web)、間瀬 勝一 (Web)

有効理事総数 11 名、出席理事 11 名、欠席理事 0 名
出席率 100% 監事 2 名、事務局 (1 名)、計 13 名

議事録署名人 (書記) 森 健輔

議事録要旨 : 定例理事会

定足数確認 : 有効理事総数 11 名中、11 名の出席、監事 2 名、事務局 (1 名) にて本理事会
は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|--------------|
| 1) 業務報告 | 伊東 正示 会長 |
| 2) 事業報告 | 西村 岩夫 副会長 代理 |
| 3) 財務報告 | 清水 康裕 副会長 |
| 4) 総務報告 | 西村 岩夫 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 理事 |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 8) 事務局報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 9) その他 | |

4. 審議事項

第 1 号議案	令和 5 年度事業報告承認の件	資料-1
第 2 号議案	令和 5 年度収支決算報告承認の件	資料-2
第 3 号議案	令和 6 年度通常総会議事次第承認の件	資料-3
第 4 号議案	選挙管理委員会提出理事監事立候補の件	資料-4
第 5 号議案	JATET 劇場演出空間技術展アンケートの件	資料-5
第 6 号議案	JATET 誌発行方法および広告料検討の件	資料-6
第 7 号議案	ホームページ上 JATET 誌ダウンロードの件	資料-7
第 8 号議案	「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」Ver. 4 印刷経費に係るアンケートの件	資料-8
第 9 号議案	正会員 C 角 和志 氏 会員資格喪失の件	資料なし
第 10 号議案	(株) 永田音響設計 賛助会員 A 入会	資料-9
第 11 号議案	永井 久夫氏 賛助会員 B 入会の件	資料-10
第 12 号議案	正会員 C 角崎 雄太氏 退会の件	資料-11
第 13 号議案	正会員 C (株) 永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会退部の件	資料-12
第 14 号議案	賛助会員 A 神戸国際ステージサービス (株) 寺川浩史氏 音響部会退部の件	資料-13
第 15 号議案	賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 鈴木大介氏 映像部会入部の件	資料-14
第 16 号議案	賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 河原田 健児氏 音響部会退部の件	資料-15
第 17 号議案	賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 工藤 尚輝氏 音響部会入部の件	資料-16
第 18 号議案	InterBEE2024 協力名義使用許可の件	資料-17
第 19 号議案	第 30 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件	資料-18

5. その他

- 1) 第 70 回臨時理事会 開催日程 (5 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が森 健輔 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

伊東 正示 会長

下記の通り、第 68 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 6 年 3 月 21 日（木） 10:30～ 第 94 回事業執行連絡委員会を開催した。

2) 事業報告

西村 岩夫副会長 代理（各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・名嶋部会長の社内異動があり、異動先と調整した結果、異動先の業務関係で、部会長として活動が出来ないため部会内で互選の結果、次期、部会長は西村委員、副部会長は黒田委員、塚田委員となった。
- ・パナソニックエレクトリックワークス社としての教育研修部会の後任者は選任中である。

建築部会では、

- ・前回の事業執行連絡委員会から建築部会は開催しておらず、特に報告事項はない。

機構部会では、

- ・3月の機構部会は開催していないため、特に報告事項はない。

照明部会では、

- ・2月20日に第80回照明部会、3月19日に第81回照明部会を開催した。
- ・L-7190改定に向け、議論している。

音響部会では、

- ・3月の音響部会は開催していないため、特に報告事項はない。

映像部会では、

- ・3月14日に映像部会を開催した。
- ・新国立劇の倉石氏が退職に伴い、映像部会退部の申し出があった。後任者として、新国立劇場の鈴木氏が映像部会入部を希望され部会申込書を提出した。
- ・2024年の研究内容について、JATET フォーラム 2024 を目標とした発表内容について協議した。放送用のカメラ、演出用のカメラ、舞台進行用のカメラの3種類のカメラの比較テストをして、何が適切なのかを研究して発表したい。また、これまで研究を進めてきた IP 系のネットワークについての研究発表、最新の静音性の高い 4K プロジェクターのデモなどがある。
- ・JATET のホームページに ST2110 の共同研究会の研究内容を 3 年前からアップロードしているが、このページを NHK 関連会社の方がご覧になって、非常に興味を持たれた。VCC MPEG-H の配信で、高精細の映像配信を NHK 放送以外で、ライブ会場から行いたいため、JATET と共同で研究したいと話があったがすぐには無理であるため、劇場とコラボレーションを結んで

進めていく。

広報部会では、

- ・JATET 誌 93 号を発行したが、編集会社を変えるべきではないかと、候補先を探している。印刷費の変動は、公益事業比率の問題もあると思うが、見直した方が良い。

イ. JATET 誌 93 号について

- ・「大型音楽施設」を特集テーマとして 3 月初旬に発行し、JATET 会員及び全国の劇場・ホールに無償で頒布した。

ロ. JATET ジャーナル (20 号・21 号・22 号) について

- ・「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナル 20 号は、未提出の原稿があり引き続き、原稿提出依頼を進めていく。
- ・「高崎芸術劇場」を特集としたジャーナル 21 号は、今年 6 月頃の発行に向け進めている。
- ・「やまぎん県民ホール」を特集としたジャーナル 22 号は、原稿執筆依頼書、承諾書を 2 月に送付済み。今年 10 月頃の発行予定で進めている。

3) 財務報告

清水 康裕 副会長 (閲覧資料-財務報告)

- ・毎月、西村副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
- ・令和 5 年度 JATET 会費未納は正会員 C 2 名となり、内 1 名は 2 年分の会費未納、除名処分となる予定。後ほどご審議をいただく。
- ・令和 6 年度の会費請求書は 4 月末ごろに発送予定。
- ・4 月 1 日に尾澤会計事務所の中村氏と事業決算の作業を行った。令和 5 年度事業収支決算書について後ほどご審議をいただく。
- ・4 月 9 日に尾澤監事、間瀬監事に監査していただいた監査報告書を閲覧する。

4) 総務報告

西村 岩夫 副会長 (閲覧資料-事務局関連及び請求書等)

- ・毎月、清水副会長と総勘定元帳、事務局職員の勤怠を確認しており問題はない。
- ・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。

5) 国際協力報告

小川 幹雄 理事

- ・OISTAT 本部の委員会は、対面とオンライン会議が活発に行われている。中でも委員会をまたいでコラボで開催されるものが増えてきている。4 月にはイギリスのリーズで教育委員会と技術委員会の合同会議があり、秋にはルーマニアのブカレストで建築委員会のツアーと衣裳委員会が共同で開催される。他にもジョージアのトビリシのビエンナーレに調査研究委員会が参加して舞台美術のイベントが開催される。プラハ・カドリエンナーレは昨年開催されたところだが、本年は PQ シンポジウムが開催される予定である。
- 4 月に台湾で地震が発生した日に OISTAT 本部 (台北) にお見舞いのメールを送信している。台北の OISTAT 本部は幸い無事であり、震災対応にあたっている旨の返信を頂いた。

6) コンプライアンス報告

西 豊彦 理事

- ・報告事項なし

7) 規程改訂作業部会報告

中川 堅司 専務理事

- ・報告事項なし

8) 事務局報告

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-内閣府情報)

イ. 内閣府情報

- ・「事業報告書等の提出」の案内が届いた。
- ・3月22日に「令和6年度事業計画書・予算書」の届出を済ませた。
- ・本日も審議いただく「令和5年度事業報告書・決算書」は、6月末までに提出予定。
- ・内閣府 公益法人メールマガジン 第188号(2/21)、臨時号(3/5)、第189号(3/6)、第190号(3/21)、第191号(4/3)を閲覧した。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-経済産業省&総務省等)

- ・経済産業省コンテンツ産業課より周知依頼として、インボイス制度について、不当な下請代金の減額の防止に係る要請について、パートナーシップ構築宣言のひな形改正について、電子帳簿保存法問い合わせについて、経済構造実態調査の事前周知について、経済センサスー基礎調査の事前周知について、「仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン」の公表についての書面が届いた。

ハ. JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-なし)

- ・4月中に第245号を配信予定。

ニ. 会員情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-会員情報)

- ・正会員 C 角崎 雄太氏 退会(審議事項)
- ・正会員 C (株)永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会退部 (審議事項)
- ・賛助会員 A 神戸国際ステージサービス (株) 寺川 浩史氏 音響部会退部 (審議事項)
- ・賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 倉石 和幸氏 映像部会退部
- ・賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 鈴木 大介氏 映像部会入部 (審議事項)
- ・賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 河原田 健児氏 音響部会退部 (審議事項)
- ・賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 工藤 尚輝氏 音響部会入部 (審議事項)

- ・正会員 A (株)東京舞台照明 代表者・担当者変更 (青野氏→市瀬氏)
- ・賛助特別 (公財)新国立劇場運営財団 代表者・担当者変更 (濱氏→山崎氏)

- ・(株)北海道共立 役員交代の書面が届いた。

審議事項については、後ほど審議をお願いします。

ホ. 諸団体情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-諸団体情報)

- ・Inter BEE 2024 出展案内、協力名義使用許可依頼が届いた。(審議事項)
- ・「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」ver.4 見本送付とアンケートのお願いが届いた。(審議事項)
- ・第30回「ニッセイ・バックステージ賞」および第30回記念特別表彰の表彰候補者の公募についてお知らせが届いた。(審議事項)

- ・（一社）緊急事態舞台芸術ネットワークより、文化庁文化芸術振興費補助金アートキャラバン事業に採択され、「日本の演劇」未来プロジェクト 2022, 2023 年の事業報告書が届いた。
- ・シアターワークショップの伊東代表による劇場セミナー伊東塾が 4 月 26 日から全 12 回開催予定。
- ・間瀬監事による「全国公文協人材育成事業 新任館長等研修」が 5 月 15 日から 6 月 26 日の内 6 日間 6 回シリーズで開催予定。
- ・『プラハ・カドリエンナーレ PQ2023』報告書が届いた。
- ・芸団協メールニュース：507 号（3/1）、508 号（3/15）、509 号（4/1）、510 号（4/15）
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：臨時号（3/12）、151 号（3/15）、臨時号（4/8）、152 号（4/15）
- ・令和 6 年度研究大会（岡山大会）の開催についてお知らせが届いた。

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

へ. 書籍販売状況

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-書籍販売状況）

規格販売状況（別紙資料参照）

- ・2024 年 3 月 31 日時点までで 454,200 円の売上があった。
- ・吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術 CD が一般、会員を合わせ多く販売している。

ト. 請求書情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-請求書情報）

- ・テトラロジックスタジオよりウェブサイト管理、JATET ニュース配信、JATET 誌 93 号編集代、プレイヴより JATET 誌発送代行費、アティア・オオツカより JATET 誌、封筒印刷代、公益法人協会・全国公立文化施設協会より会費の請求が届いた。
- ・その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所の請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-HP アクセス解析）

JATET ホームページのアクセス解析・・・2 月～3 月までの HP 閲覧状況を閲覧した。

- ・2 月のページビュー数は 2,689
- ・3 月のページビュー数は 2,156

リ. 事務局関連

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-事務局関連）

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・3 月に申請した「適格請求書発行事業者の登録通知書」が届いた。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告承認の件

資料-1

中川専務理事より資料-1 に基づき、第 1 号議案 令和 5 年度事業報告承認の件について、

説明があった。

総会の議案書となる令和5年度事業報告書の案とする。まず会議について令和5年度通常総会は令和5年5月25日に、東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2 エッサム神田ホール1号館3階大会議室301号室及びWeb会議方式にて、限られた執行理事と部会長の出席により開催した。

総会での審議事項は全員賛成、反対0名で承認されている。

理事会は、令和5年度において定例理事会を4回、臨時理事会を1回開催し、審議事項はすべて可決承認されている。

事業執行連絡委員会は、月1回、年間12回開催している。

部会報告は、各部会長から提出された内容を記載し、1)教育研修、2)建築、3)機構、4)照明、5)音響、6)映像、7)広報の7部会の順に、令和5年度の活動について報告した。

全体的な事業として、JATET フォーラム 2022/23 をイープラスにて配信した。また、InterBEE2023にJATETとして初出展し主にJATET紹介の広報を目的とし参加した。

JATET 誌は、92号を特集：「JATET フォーラム 2022/23 総括 続・ホール運用の聞き取り調査」を9月末に発行、93号を特集：「大型音楽施設」として3月初旬に発行した。

JATET ジャーナルは、施設紹介予定としていたVol.20「那覇文化芸術劇場なはと」は今年度の発行を目指し、JATET ジャーナル Vol.21「高崎芸術劇場」は6月発行予定、JATET ジャーナル Vol.22「やまぎん県民ホール」は10月発行予定としている。

JATET ニュースは第235号から第244号まで計10回発行した。

中川専務理事の説明の後、第1号議案 令和5年度事業報告承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第2号議案 令和5年度収支決算報告承認の件

資料-2

中川専務理事より資料-2に基づき、第2号議案 令和5年度収支決算報告承認の件について説明があった。

総会の議案書となる令和5年度事業に係る収支決算報告の案を示す。

貸借対照表において、資産の部は前年度と比較して流動資産が310,000円ほど減り、その他固定資産合計は1,370,000円ほど減っており、資産の合計は約1,060,000円の減となった。

負債の部の合計は約450,000円となり、前年度より210,000円ほど増えている。正味財産合計は7,221,926円、負債及び正味財産の合計は7,679,075円となった。

正味財産増減内訳表の経常増減の部、経常収益について、正会員Bに3社、賛助会員Aに1社、賛助会員Bに4名の入会があり、受取入会金は1,060,000円となった。会費収入は正会員Aが18社、Bが9社、Cが24名、賛助会員Aは24社、Bは33名、特別賛助会員が9団体で、受取会費は15,405,000円となった。

事業収益は、JATET フォーラム 2022/23 セミナーをイープラスにて配信し、セミナー開催収益は18,000円となった。

施設見学会は、やまぎん県民ホール、水戸市民会館、小田原三の丸ホールにて見学会を実施し、開催収益は524,000円となった。

発刊物販売収益は524,620円となった。

JATET 誌の広告収益は92号、93号で各17社の掲載があり、7,329,000円の収益となった。

経常費用の事業費について、部会費は約345,000円となり前年度は約75,000円のためコロナ終息を迎え令和5年度は活発な活動がみられた。JATET フォーラムセミナー開催費は令和4年度から持越しとし主に配信関連の出費が約544,000円となった。

JATET ジャーナルは、原稿執筆依頼書、承諾書発送代として約 4,500 円となった。

ホームページ運用費、JATET News 発行費はほぼ例年通り、JATET 誌は 92 号、93 号の発行となり、5,371,051 円の出費、また初出展した InterBEE 展示事業費は約 490,000 円となった。

その他の諸経費を含めて事業費の合計は 17,772,057 円、管理費はほぼ例年通りの内容で 6,242,432 円となり、経常費用の合計は 24,014,489 円となった。

当期経常増減額は、846,220 円となり、正味財産期末残高は 7,221,926 円となった。

財務諸表に対する注記として、特定資産については令和 5 年度用に特定費用準備金 2,000,000 円を積み立てていたが、フォーラム、技術展を行っていなかったため取り崩すことが出来ず、令和 6 年度に持越となった。

また、前回第 68 回定例理事会にて、尾澤会計事務所との 2 月の決算見込み時に公益目的事業比率を 50%以上確保するため、年度内に 2,500,000 円ほど積み立てることでご審議をいただいたが、3 月末の時点でみずほ銀行、郵貯銀行から各々 50 万円、計 100 万円を積み立て、入出金口座の三菱 UFJ 銀行から 50 万円を特定費用準備金に割り当てることとして、1,500,000 円の積み立てとした。

これにより特定資産の当期末残高は 3,500,000 円となった。

財産目録は、流動資産が 3,015,611 円、固定資産が 4,663,464 円で資産合計は 7,679,057 円、負債額を引いた正味財産は 7,221,926 円となる。

収支相償については、公益目的事業比率は 50.5%となり、ぎりぎりでも 50%以上を確保している。遊休財産の保有制限についても適合している。

議長より監事監査について意見を求められ、尾澤監事より特に意見がないとの回答があった。

- ・ 特定費用準備金は仮に使わないで余った場合、上限はあるのか。(西理事)
- ・ 上限はあるわけではなく、通常積立金にした場合、10 年などで使う計画を立てることになっているが、今回 1,500,000 円積み立てたことは収支相償の認定基準をクリアするために積み立てている。その結果、現預金が 1,700,000 円ほどしか残っていないのが現状である。本当は、公益目的事業を実施しないということではなく、きちんと事業を実施して収支相償をクリアしていかなければならない。資金が枯渇していることが現状で現在、間瀬監事と報告書とは別に監事としての意見書を提出する予定でいる。慎重に扱う必要があるので現在、原案を中川専務理事に出している状態である。
意見書を元に理事の方々が吟味して資金を上手く調達し、公益事業が出来るようにしないと公益法人としての存続が難しくなってくる。資金を集める方法を考えて行かなければ何年か先には無くなってしまふことが想定される。(尾澤監事)
- ・ 特定費用準備金は技術展やフォーラムで使うという目的があったと思うが、後から目的を変更することは可能なのか。(西理事)
- ・ 変更は可能である。(尾澤監事)
- ・ 例えば、技術展で使う予定が技術展を開催出来ないとなった時にフォーラムを開催し使うことは可能なのか。(西理事)
- ・ 特定費用準備金は積み立てた時、それなりの目的に使うという計画書を提出しており、その際に目的等も記載している。また、使えなかった場合は事情を変更した内容を認定委員が認めてくれれば進めていける。(尾澤監事)
- ・ 特定費用準備金の積み立てに当たっては、内閣府に報告し基本的に 2 年後の事業のための積み立てとなっている。目的を明確に記載し申請をして受理されるがその中には目的外

では使用出来ないとなっているので最初に申請した時にその目的で使わないといけないということになる。但し、目的外使用をせざるを得ない状況となった際は、内閣府に相談しどのように対応するか指導を受けることになる。(中川事務局長)

- ・尾澤監事からお話があったように協会の存続が微妙な所まで来ている。
プラスの方に考えが及ぶよう理事含め、会員全体で検討する必要がある。(間瀬監事)

中川専務理事の説明の後、第2号議案 令和5年度収支決算報告承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第3号議案 令和6年度通常総会議事次第承認の件 資料-3

中川専務理事より資料-3に基づき、第3号議案 令和6年度通常総会議事次第承認の件について説明があった。

審議事項は下記の通りとする。

- 第1号議案 令和5年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和5年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案～第15号議案 理事監事選出選挙

続いて報告事項は下記の2件。

- 第1号報告 令和6年度事業計画の報告の件
- 第2号報告 令和6年度収支予算の報告の件

中川専務理事の説明の後、第3号議案 令和6年度通常総会議事次第承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

令和6年5月21日の令和6年度通常総会では、この議事次第通りに進行する。

第4号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補の件 資料-4

中川専務理事より資料-4に基づき、第4号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補の件について説明があった。

- ・理事候補者として11名、監事候補者として2名の方が立候補されている。
- ・選挙管理委員会で承認された「令和6年度 理事監事立候補者名簿」を示す。
- ・本日の理事会で審議、承認されたら、立候補者お一人1議案として総会議案書に掲載する。

中川専務理事の説明の後、第4号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第5号議案 JATET 劇場演出空間技術展アンケートの件 資料-5

中川専務理事より資料-5に基づき、第5号議案 JATET 劇場演出空間技術展アンケートの件について説明があった。

JATET 劇場演出空間技術展は、コロナの影響もあり、2019年以降5年間に亘り開催できていない。何とか開催したいところであるが、JATET 単独では会場費、会場設営費などの経費を考えると難しい状況である。

そこで、千葉の幕張メッセで毎年開催されている Inter BEE の開催に併せて実施ができな
いか模索している。昨年は JATET として、広報目的で Inter BEE に出展した。JATET は今
年度も出展するため、もし出展を希望される会員がある程度集まれば、JATET としての展
示エリアを設定して、会員の展示ブースを配置したいと考え、会員向けのアンケートを
実施しご意見をいただき今後の事業の参考としたい。アンケート実施についてご審議い
ただきたい。

- ・小間料金が 300,000 円との話だが、電気代は含まれているのか。(青野理事)
- ・電気代は含まれていない。場所代だけとなる。(中川事務局長)
- ・そうすると JATET の収入は無いのではないか。(青野理事)
- ・事業執行連絡委員会では反対の意見もあったが、まずはアンケートを実施して意見を
募りたい。(中川事務局長)
- ・Inter BEE の会場で JATET のブースを作った場合、JATET 単独で開催した場合には収益
を上げられるが Inter BEE では難しいのではないか。収支的な考えはどうか
(西村副会長)
- ・JATET としてのブースの予算を 400,000 円としており、持ち出しも必要になると思う。
経費は特定費用準備金から使うことになる。(中川事務局長)
- ・そうすると特定費用準備金、預金が枯渇するのではないか。(西村副会長)
- ・アンケートはいつ締め切りで、その結果はいつの年度に反映されるのか。(小川理事)
- ・アンケートの実施を承認いただけたら、来週にでもメールで会員の皆さんへお送りす
る。締め切りは連休明けとし、5 月末までに精査し、今年度に反映していく。
(中川事務局長)

中川専務理事の説明の後、第 5 号議案 JATET 劇場演出空間技術展アンケートについて審
議に入り、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 JATET 誌発行方法および広告料検討の件

資料-6

中川専務理事より資料-6 に基づき、第 6 号議案 JATET 誌発行方法および広告料検討の件
について説明があった。

今年度は 94 号を夏頃、95 号を冬頃の発行を予定しているが、令和 5 年度収支決算を終
え、JATET 誌の発行が事業費を圧迫していることが協会の運営に大きな影響を与えてい
る。今年度、大きな事業を実行しないと管理費だけが膨れあがり、公益目的事業費 50%
を超えることが難しく、協会の存続も危うい状況である。

現在まで、JATET 誌を印刷し関係各所に無償で配布しているが、必要な人や場所に JATET
誌が届いていないことも会員の方々からお聞きしている。

2 号分の JATET 誌印刷代の費用、また配送代も賃金が上がっており、JATET 誌の発行はこ
のまま冊子として発行すべきか、ダウンロードで閲覧していただくべきか皆様のご意見
を伺いご審議いただきたい。

事務局としては、広告掲載依頼の時期が迫っているため、夏号(94号)は従来通り発行
し、冬号(95号)以降は Web 配信に切り替えていくのでは如何かと考えている。

また、年 2 号発行する場合、夏号は 5 月中に JATET 誌広告掲載依頼を関係各所に発送し
ている。仮にダウンロードでの発行の場合、広告料も修正しなければならない。

広告料の検討についてもご意見をいただき、ご審議いただきたい。

- ・JATET 誌発行が公益事業として認められないのであれば、収益事業として有料化を
図った方がいいのではないか。会員は無料で頒布し、会員以外は有料で販売するか Web

- の場合も有料化してダウンロードしてもらおう方法も考えられる。(西理事)
- この場合、紙は廃止にしないで継続していくということになる。(伊東会長)
 - ダウンロードにした場合、有料になるのか無料になるのか。(小川理事)
 - 会員外の方は有料となる。(中川事務局長)
 - そうするとダウンロードも収益事業になるのか。(小川理事)
 - 収益事業になる。紙ベースよりもダウンロードの場合は金額が低くなる。(西理事)
 - 印刷し紙ベースが無くならないのであれば、広告料は現状通りの金額となるが、印刷をやめた場合は、下げざるを得ないと思う。(中川事務局長)
 - Web になった場合は、広告料はいただくのか。(伊東会長)
 - 広告料はいただく方向で考えている。(中川事務局長)
 - 広告料は製本版と Web 版の併用となると、裏表紙の存在の希少価値が無くなってしまいうので広告料について設定をもう少し考えていかないといけないのでは無いか。(清水副会長)
 - 印刷を継続していくのであれば、広告料はこのままの金額で設定していき、Web 配信だけになった場合は広告料を検討しないといけない。また、現状、配送料、印刷料が圧迫しているため、印刷部数を減らしていくことも必要となるのではないかと。(中川事務局長)
 - 会員以外の所へ無償で頒布していたところを全てやめて有料化することは出来ないと思われるので、どこまでを無償にするかによっても収支が変わってくるのではないかと。(小川理事)
 - 広告を出されている企業の方の意見を知りたい。(伊東会長)
 - 印刷して各会館に配布してほしい。(青野理事)
 - 会館の方々に JATET 誌をどういった方に見られているかによっても違ってくると思う。Web 配信の良さもあるが、Web に親しみを持っていない方もいるのでどう読まれているのかで違ってくるのではないかと。(横井理事)
 - アンケートを取るのもありではないかと。(小川理事)

中川専務理事の説明の後、第 6 号議案 JATET 誌発行方法および広告料検討について審議に入り、まず、次回の 94 号は印刷で発行し、その次の号からの発行については審議を重ねることを全員一致で可決承認された。

第 7 号議案 ホームページ上 JATET 誌ダウンロードの件

資料-7

中川専務理事より資料-7 に基づき、第 7 号議案 ホームページ上 JATET 誌ダウンロードの件について説明があった。

現在、HP の JATET 誌のページでは、バックナンバーのダウンロード機能を停止して 2 年経過している。

非会員の方については、ダウンロードの有料化を検討しているが、現時点ではその取り扱いについての審議ができていない状況である。まずは会員限定で無料ダウンロードできるようにしたいと考えている。

HP の JATET 誌ダウンロードページから、利用者登録フォームに飛ぶようにし、そこに会員限定のダウンロード規約を置いて、規約に同意いただいた上で、会員種、登録団体名、氏名、メールアドレスを入力して利用者登録をしていただく。送信された利用者登録情報を事務局で確認して、ID とパスワードを発行することにより、利用者はダウンロードが可能になるようにしたいと考えている。当面の間は会員限定のサービスとし、会員以外の方については、もうしばらくお待ちいただきたいことを、HP に表示する予定である。

中川専務理事の説明の後、第 7 号議案 ホームページ上 JATET 誌ダウンロードについて審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 8 号議案 「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」 Ver. 4 印刷経費に係るアンケートの件 資料-8

中川専務理事より資料-8に基づき、第 8 号議案 「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」 Ver. 4 印刷経費に係るアンケートの件について説明があった。

昨年度、基準協の「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」 Ver. 4 の改訂作業が行われ、改訂版の案が出来上がった。5 月 1 日（火）までに各構成団体から意見を提出し、5 月下旬に印刷、発行される予定である。

このガイドラインを広く普及させるためには印刷配布が有効であり、印刷経費について構成団体にて可能な範囲で負担をお願いできないかとアンケートの提出が求められている。広告掲載を希望する・希望しないのどちらかで、10 万円（B5 版 1 ページ）または 5 万円（B5 版半ページ）の費用負担の可否、単価×追加希望部数での費用負担を選択することになる。事務局としては、B5 版半ページの広告を出稿し、5 万円の費用負担では如何かと考えているが、ご意見、ご提案をいただきたい。

- ・ガイドラインはどこに配られるのか。（青野理事）
- ・構成団体と学校関係、全国公立文化施設に無償で頒布される。（中川事務局長）
- ・全国に配布されるのであれば、広告掲載するのはいいのではないか。（青野理事）

中川専務理事の説明の後、第 8 号議案 「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」 Ver. 4 印刷経費に係るアンケートについて審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 正会員 C 角 和志 氏 会員資格喪失の件 資料なし

中川専務理事より、第 9 号議案 正会員 C 角 和志 氏 会員資格喪失の件についての説明があった。

財務報告で会費未納者について報告されたとおり、正会員 C の角 和志氏は、現時点で令和 4 年度正会員会費及び令和 5 年度正会員会費が未納となっている。

中川専務理事の説明の後、第 9 号議案 正会員 C 角 和志 氏 会員資格喪失について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 (株) 永田音響設計 賛助会員 A 入会の件 資料-9

中川専務理事より資料-9に基づき、第 10 号議案 (株) 永田音響設計 賛助会員 A 入会の件について説明があった。

令和 6 年 3 月 29 日付の入会申込書が届いている。

1971 年に創設され、建築音響設計コンサルティングを主体に電気音響設計、映像設備設計を行っている会社である。

中川専務理事の説明の後、第 10 号議案 (株) 永田音響設計 賛助会員 A 入会について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

第 11 号議案 永井 久夫氏 賛助会員 B 入会の件

資料-10

中川専務理事より資料-10に基づき、第 11 号議案 永井 久夫氏 賛助会員 B 入会の件について説明があった。

令和 6 年 3 月 14 日付の入会申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 11 号議案 永井 久夫氏 賛助会員 B 入会について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 正会員 C 角崎 雄太氏 退会の件

資料-11

中川専務理事より資料-11に基づき、第 12 号議案 正会員 C 角崎 雄太氏 退会の件について説明があった。

令和 6 年 3 月 31 日付の退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 12 号議案 正会員 C 角崎 雄太氏 退会について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 13 号議案 正会員 C (株) 永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会退部の件

資料-12

中川専務理事より資料-12に基づき、第 13 号議案 正会員 C (株) 永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会退部の件について説明があった。

令和 6 年 3 月 29 日付の部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 13 号議案 正会員 C (株) 永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会退部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 14 号議案 賛助会員 A 神戸国際ステージサービス (株) 寺川浩史氏 音響部会退部の件

資料-13

中川専務理事より資料-13に基づき、第 14 号議案 賛助会員 A 神戸国際ステージサービス (株) 寺川浩史氏 音響部会退部の件について説明があった。

令和 6 年 3 月 22 日付の部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 14 号議案 賛助会員 A 神戸国際ステージサービス (株) 寺川浩史氏 音響部会退部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 15 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 鈴木大介氏 映像部会入部の件

資料-14

中川専務理事より資料-14に基づき、第 15 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 鈴木大介氏 映像部会入部の件について説明があった。

令和 6 年 2 月 29 日付の部会入部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 15 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 鈴木大介氏 映像部会入部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 16 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 河原田 健児氏音響部会退部の件

資料-15

中川専務理事より資料-15に基づき、第 16 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 河原田 健児氏音響部会退部の件について説明があった。

令和 6 年 4 月 9 日付の部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 16 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 河原田 健児氏音響部会退部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 17 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 工藤 尚輝氏 音響部会入部の件

資料-16

中川専務理事より資料-16に基づき、第 17 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 工藤 尚輝氏 音響部会入部の件について説明があった。

令和 6 年 4 月 9 日付の部会入部届が届いている。

第 16 号議案の河原田 健児氏の退部の後任として、工藤 尚輝氏が入部する。

中川専務理事の説明の後、第 17 号議案 賛助特別 (公財) 新国立劇場運営財団 工藤 尚輝氏 音響部会入部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 18 号議案 Inter BEE 2024 協力名義使用許可の件

資料-17

中川専務理事より資料-17に基づき、第 18 号議案 Inter BEE 2024 協力名義使用許可の件について説明があった。

Inter BEE 2024 は、11 月 13 日～15 日に千葉市幕張メッセにて開催される。協力団体については、展示ブースを無償で 1 コマ使用できるので、JATET の活動を広報するとともに、今後の InterBEE 会場を利用した技術展開催の検討を含め、JATET ブースを設けて展示を行いたいと考える。

中川専務理事の説明の後、第 18 号議案 Inter BEE 2024 協力名義使用許可について審議に入り、今年度も協力名義の使用を許可すると回答する事、及び会場内に展示ブースを設け広報活動を行う事が全員一致で可決承認された。

第 19 号議案 第 30 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件

資料-18

中川専務理事より資料-18に基づき、第 19 号議案 第 30 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件について説明があった。

公益財団法人ニッセイ文化振興財団より、第 30 回「ニッセイ・バックステージ賞」の公募案内が届いた。舞台芸術を裏から支え、優れた業績を挙げている舞台技術者を表彰する目的で、毎年実施されている。

推薦者を挙げるか、推薦者なしとするか、審議をお願いする。

中川専務理事の説明の後、第 19 号議案 第 30 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募について審議に入り、今年度も「推薦者なし」と回答する事が全員一致で可決承認された。

全ての審議事項の後、令和 6 年度通常総会、臨時理事会終了後に開催する懇親会について、中川専務理事より報告があった。

5 月 21 日通常総会、臨時理事会終了後にエッサム神田 2 ホールの会議室でケータリングを

利用し懇親会開催の準備を進めている。

スタッフつきで料理は単価 3,000 円、飲み物は 120 分飲み放題 1,300 円で検討しており、会場費は、ケータリングの準備を含め約 110,000 円となる見込みである。

前回の理事会では会費制で承認いただいたが、一人 5,000 円の会費で来週から懇親会の申込受付を開始したいと考えている。

5. その他

1) 第 70 回臨時理事会開催日程について

第 70 回臨時理事会は、令和 6 年 5 月 21 日（火）の定期総会終了後に開催予定とする。

2) 閉会

15 時 50 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和6年4月18日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第69回定例理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 伊東正示)	伊東正示	
監事 (尾澤輝行)	尾澤輝行	
監事 (間瀬勝一)	間瀬勝一	
議事録作成署名人 (森 健輔)	森 健輔	

第 70 回 臨時理事会

議事録（正）

令和 6 年 5 月 21 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

1. 開催日時及び場所

日 時：令和 6 年 5 月 21 日（火） 16:10～16:30

場 所：エッサム神田ホール 1 号館 301 号室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2

2. 出席理事数及び出席者氏名

出席理事数： 11 名（理事総数 11 名）

欠席理事数： 0 名

出席理事名：市瀬 守、清水 康裕、西奈美 博、西村 岩夫、森 健輔、横井 裕、
伊東 正示、長谷川 祥久、小川 幹雄、中川 堅司、西 豊彦

出席監事数： 2 名（監事総数 2 名）

出席監事名：間瀬 勝一、尾澤 輝行

3. 議事次第

1) 開会

2) 議長選出

3) 議事録記録署名人選出

4) 議事

第 1 号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定
推薦役職候補

会長（代表理事）	伊東 正示（イトウ マサジ）氏 株式会社シアターワークショップ/代表取締役
副会長（第 1）	西村 岩夫（ニシムラ イワオ）氏 ヤマハサウンドシステム株式会社/ 顧問
副会長（第 2）	清水 康弘（シミズ ヤスヒロ）氏 三精テクノロジーズ株式会社 /常務執行役員 舞台機構事業本部 副本部長
副会長（第 3）	市瀬 守（イチセ マモル）氏 株式会社東京舞台照明/サービス事業部 嘱託
専務理事	中川 堅司（ナカガワ ケンジ）氏 音響（エヌ・ケー・サウンドラボ）

5) 閉会

4. 議事の経過の概要とその結果

1) 開会

役職理事が決定しておりませんので、事務局員の望月が開催の確認をします。

全員異議なし

審議に先立ち、定款第 41 条（招集）について確認いたします。

定款第 41 条（招集）

2 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的記録により、開催日の1週間前までに通知しなければならない。

5 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく理事会を開催することができる。

この理事会は、選挙に先立ち、理事、監事立候補者の皆さまより、当選後は臨時理事会に出席する旨の返事をいただきました。

当協会の定款第 43 条（定足数）「理事会は、理事の過半数以上の出席をもって成立する。」の規定に従い定足数を確認いたします。理事構成員 11 名中、出席 11 名、欠席 0 名で過半数の出席を確認しました。出席監事は 2 名です。

以上により、本日の第 70 回臨時理事会の成立を宣言いたします。

2) 議長選出

定款第 42 条（議長）で「理事会の議長は、会長がこれにあたる。」と定めておりますが、役職理事が決定しておりません。

理事会運営規程で、

第 6 条（理事会の議長）

3 理事全員改選直後の理事会における議長は、出席した理事の中から互選された者がこれに当たる。と定めておりますので、本日選出された新役員の内から議長の選出をお願いします。

ご出席の前会長である伊東 正示氏に議長をお願いするのは、皆様いかがでしょうか。

全員異議なし

伊東 正示氏を議長に選出。

3) 議事録署名人選出

定款第 46 条の規定により、西奈美 博氏を議事録記録署名人に選出、同氏はこれを受諾。

4) 議案の審議

<第 1 号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定>

定款第 27 条（選任）

2 代表理事、副会長、専務理事及び専門の業務担当理事は理事会において選任する。

と定めており、この臨時理事会にて直ちに役職理事を決定する必要があるため、従来、役職理事については、選挙の立候補の届出を受けた後、直近の理事会にて役職理事候補を推薦してから総会後の臨時理事会にお諮りするのが通例ですが、推薦が遅れたため、前会長、前副会長、前専務理事の中で検討をさせていただきました。検討の結果、次の 4 名を役職理事候補として推薦いたしました。

会長（代表理事） 伊東 正示（イトウ マサジ）氏

株式会社シアターワークショップ/代表取締役

副会長（第 1） 西村 岩夫（ニシムラ イワオ）氏

ヤマハサウンドシステム株式会社/ 顧問
副会長 (第2) 清水 康弘 (シミズ ヤスヒロ) 氏
三精テクノロジーズ株式会社
/常務執行役員 舞台機構事業本部 副本部長
副会長 (第3) 市瀬 守 (イチセ マモル) 氏
株式会社東京舞台照明/サービス事業部 嘱託
専務理事 中川 堅司 (ナカガワ ケンジ) 氏
音響 (エヌ・ケー・サウンドラボ)

副会長の順位は、

理事の職務権限規程

第8条 (副会長)

(2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって会長の業務執行に係る職務を代行する。と定めており、副会長がその順位に従い会長の職務を代行することとなります。

代表理事、副会長、専務理事の選任について決議を行い、推薦内容の通りで、全員一致にて可決承認されました。

会長 (代表理事) 伊東 正示 (イトウ マサジ) 氏
副会長 (第1) 西村 岩夫 (ニシムラ イワオ) 氏
副会長 (第2) 清水 康弘 (シミズ ヤスヒロ) 氏
副会長 (第3) 市瀬 守 (イチセ マモル) 氏
専務理事 中川 堅司 (ナカガワ ケンジ) 氏

以上の皆様は、本日より業務の執行をお願いいたします。

専務理事は、常勤になるため事務局の統括をお願いいたします。

あらためて会長に選任されましたので、定款第42条の規定により、会長の私が議長を務めます。

続いて業務担当執行理事について審議いたします。

定款第26条 (種類及び定数)

3 本会の会長を代表理事とし、副会長、専務理事に加え、専門の業務担当理事3人を限度として、「一般社団・財団法人法」第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とする。

と定めております。

現状の理事立候補者の名簿を基に、前副会長及び前事務局長と相談し、次の提案を行います。

理事の職務権限規程

第7条 (会長)

(1) 代表理事として本会を代表し、その業務を統括し執行する。と定めておりますので、
統括責任者 会長である私、伊東 正示

理事の職務権限規程

第8条（副会長）

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。と定めておりますので、事業担当、財務担当、総務担当はそれぞれ

事業担当 西村 岩夫 副会長

前期は総務を担当されておりましたが、今期より JATET フォーラムなどの事業を担当いただきます。

財務担当 清水 康弘 副会長

前期と同様、引き続き財務を担当いただきます。

総務担当 市瀬 守 副会長

今期から理事に就任されましたが、総務担当としてご活躍いただきます。

理事の職務権限規程

第9条（専務理事）

- (1) 事務局を統括するとともに、会長及び副会長を補佐し、本会の業務を執行する。と定めておりますので、

事務局統括 国内渉外担当 中川 堅司 専務理事

次に定款第26条の定めにより、専門の業務担当理事を選任いたします。

前期は国際渉外担当、コンプライアンス担当の2名を選任していましたが、西理事から広報を担当したいと提案がありましたので、広報部会長をサポートする広報担当理事として、ご活躍いただきたいと思います。

今期につきましては、専門の業務担当理事として国際渉外担当、コンプライアンス担当、広報担当を選任いたします。

国際渉外担当 小川 幹雄 理事

国際渉外担当は、OISTAT 及び KTL との関係があり、小川理事は OISTAT の関連もありますので、前期に続き、ご尽力をお願いしたいと思います。

国際交流をより活発化させていただきたいという人選です。

コンプライアンス担当 西 豊彦 理事

前期に続き、ご尽力をお願いしたいと思います。

広報担当 西 豊彦 理事

コンプライアンス担当と兼務となりますが、広報担当理事として広報部会長をフォローしながら広報関係の課題に取り組んでいただきたいと思います。

規程改訂作業部会担当につきましては、

規程改訂作業部会担当 中川 堅司 専務理事

残りの規程類もわずかではありますが、各種規程については常に見直しが必要でもあること、併せて定款の見直しも今後必要になりますので、引き続き中川専務理事にお願いしたいということです。

業務執行担当理事について決議を行い、推薦内容の通りで、全員一致にて可決承認されました。

統括責任者 伊東 正示 会長
事業担当 西村 岩夫 副会長
財務担当 清水 康弘 副会長
総務担当 市瀬 守 副会長
事務局統括 国内渉外担当 中川 堅司 専務理事
国際渉外担当 小川 幹雄 理事
コンプライアンス担当 西 豊彦 理事
広報担当 西 豊彦 理事が兼務
規程改訂作業部会担当 中川 堅司 専務理事が兼務

新しく業務担当執行理事に選任された方は、前任者から業務の引き継ぎをお願いいたします。

それでは、早々に6月の事業執行連絡委員会の日程を決定したいと思います。

6月21日 14:00～と決定させていただきます。

最後に顧問選出について審議いたします。

定款第35条（顧問及び参与）

2 顧問及び参与は、学識経験者又は本会に功労のあった者のうちから、理事会の推薦により、会長が委嘱する。以上に基づき、前期は顧問はなしとしておりましたが、今期はいかがいたしましょうか。

顧問就任は要請しないについて決議を行い、全員一致にて可決承認されました。

本日の審議事項は以上となります。

次回の第71回定例理事会の日程を決定したいと思います。

第71回定例理事会は、8月20日（火）14時～JATET会議室にて開催しますので、ご予約の確保をお願いします。

公益法人と理事の責任と義務を良くご理解の上、理事会に出席をお願いいたします。

5) 閉会

16時30分 中川事務局長が閉会を宣言し終了した。

令和6年5月21日

上記議事録を明確にする為、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名押印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

第70回臨時理事会

役職	署名	捺印
市瀬 守 理事	市瀬 守	
清水 康裕 理事	清水 康裕	
西奈美 博 理事	西奈美 博	
西村 岩夫 理事	西村 岩夫	
森 健輔 理事	森 健輔	
横井 裕 理事	横井 裕	
伊東 正示 理事	伊東 正示	
長谷川 祥久 理事	長谷川 祥久	
小川 幹雄 理事	小川 幹雄	
中川 堅司 理事	中川 堅司	
西 豊彦 理事	西 豊彦	
尾澤 輝行 監事	尾澤 輝行	
間瀬 勝一 監事	間瀬 勝一	

第 71 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 6 年 8 月 20 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第 71 回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：令和 6 年 8 月 20 日 (火) 14 : 00 ~ 16 : 05

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL : 03-5289-8858

出席理事：伊東 正示 会長、
西村 岩夫 副会長 (事業担当)、
清水 康裕 副会長 (財務担当)、
市瀬 守 副会長 (総務担当)、
小川 幹雄 理事 (国際渉外担当)、
中川 堅司 専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)
森 健輔 理事

Web 出席理事：西 豊彦 理事 (コンプライアンス担当・広報担当)、
西奈美 博 理事、長谷川 祥久 理事、横井 裕 理事

出席監事：間瀬 勝一

欠席監事：尾澤 輝行

有効理事総数 11 名、出席理事 11 名、欠席理事 0 名
出席率 100% 監事 1 名、事務局 (1 名)、計 12 名
監事を含めた出席率 92%

議事録署名人 (書記) 小川 幹雄

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 11 名中、11 名の出席、監事 1 名、事務局 (1 名) にて本理事会
は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|------------|
| 1) 業務報告 | 伊東 正示 会長 |
| 2) 事業報告 | 西村 岩夫 副会長 |
| 3) 財務報告 | 清水 康裕 副会長 |
| 4) 総務報告 | 市瀬 守 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 執行理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 執行理事 |
| 7) 広報報告 | 西 豊彦 執行理事 |
| 8) 規程改訂作業部会報告 | 中川 堅司 専務理事 |

- 9) 事務局報告
10) その他

中川 堅司 専務理事

4. 審議事項

- | | | |
|---------|--|------|
| 第 1 号議案 | JATET 誌 DL に関する規約修正版とクレジットカード決済の契約の件 | 資料-1 |
| 第 2 号議案 | JATET 活動休止届運用に伴う入会規程、会費規程改訂の件 | 資料-2 |
| 第 3 号議案 | Inter BEE 2024 展示内容の件 | 資料-3 |
| 第 4 号議案 | JATET フォーラム 2024/25 開催の件 | 資料-4 |
| 第 5 号議案 | JATET 誌 95 号以降の発行及び広告料の件 | 資料-5 |
| 第 6 号議案 | 賛助会員 B 安藤 尚彦氏 ご逝去に伴う退会の件 | 資料-6 |
| 第 7 号議案 | 正会員 B (株) 久米設計 田中 伊都名氏 広報部会入部の件 | 資料-7 |
| 第 8 号議案 | 正会員 A (株) 東京舞台照明 神田 保之氏 照明部会入部の件 | 資料-8 |
| 第 9 号議案 | 正会員 A (株) サンケン・エンジニアリング 村木 陽児氏
機構部会入部の件 | 資料-9 |

5. その他

- 1) 第 72 回定例理事会 開催日程 (11 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が小川 幹雄 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

伊東 正示 会長

下記の通り、第 69 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 6 年 4 月 22 日（月） 15:00～	第 95 回事業執行連絡委員会
令和 6 年 5 月 17 日（金） 14:00～	第 96 回事業執行連絡委員会
令和 6 年 6 月 21 日（金） 14:00～	第 97 回事業執行連絡委員会
令和 6 年 7 月 19 日（金） 14:00～	第 98 回事業執行連絡委員会
令和 6 年 8 月 19 日（月） 14:00～	第 99 回事業執行連絡委員会を開催した。

2) 事業報告

西村 岩夫副会長（各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・2024 年度以降の施設見学会候補地について、東京ガーデンシアターの見学会を 8 月開催で進めてきたが、施設側が、利用者の案内と打ち合わせを最優先にしたいということ、見学会に人員を割くことがなかなかできないとの理由で大人数での JATET 見学会は、今回受け入れられないという回答があったため見送りとした。
- ・あきた芸術劇場の見学会は前倒しで確認しながら進めていく。
また、平塚文化芸術ホール、世田谷区民会館についても日程の調整等進めていく。

建築部会では、

- ・メイン活動テーマとして劇場法のガイドラインの作成を推進している。
その中の大きなテーマの一つに客席計画があるが、法規が関わっているため、国との折衝が必要となり、5 月 20 日、西理事の紹介で、公明党の三浦議員のところへ本件について面談に伺った。国交省の担当者を集めて、勉強会を早速開催したいという申し入れがあり、早いテンポで進めて行きたいということであった。建築部会としては、準備が必要なので、8 月下旬から 9 月の開催を申し入れた。

機構部会では、

- ・4 月 17 日の機構部会で、今期の部会長は、(株)サンケン・エンジニアリングの小塩委員となった。
- ・研究部会の進捗状況について、未来の駆動部、点吊は、特に進捗していない。
- ・ライトブリッジの比較研究会は、各ブリッジの歴史の図面はほぼまとまっており、照明部会の協力をいただきながら、ライトブリッジの歴史と変貌をまとめていく。
- ・韓国研修は、韓国の劇場の見学と韓国メーカーの工場の視察という目的で 10 月 15 日～10 月 18 日の 3 泊 4 日で計画している。

照明部会では、

- ・規格 L7190 の改定の内容を議論、すり合わせを行った。
- ・EMC 研究会では、今後の方向性を話し合った。

音響部会では、

- ・舞台連絡設備研究会は、規格の改定を進めている。
- ・電源設備の研究会は、実験内容について、アンプ出力の計測や電源波形の計測などの測定箇所とその測定機材について話題となった。
- ・200ボルトのコンセントについて、去年のInter BEE主催者の一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会へ、JATETより注意喚起を行った。
今年のInter BEE開催については、もう一度JATETから申し入れをすべきということとなり、7月9日にJATET事務局で懇談した。Inter BEEの事務局から、Inter BEEの会場で200V電源に100VのC型のコンセントが使用されていたことについては、昨年10月に指摘いただき、開催の直前の指摘だったため、準備ができなかったとご報告いただいた。

映像部会では、

- ・映像部会は、5月24日と6月18日に開催した。
ウシオライティングの会議室で部会を開催し、ウシオライティングのプロジェクションや、ビデオウォールメーカーROEジャパンのデモを見学した。

広報部会では、

- ・4月15日の広報部会で、新部会長は、古橋氏となった。
- ・JATETジャーナルとJATET誌の2つの媒体の違いを、これから先どうやって考えていくのかについて議論した。
- ・JATETリーフレットは、現在はWebで展開しているが、改定が進んでいない。
- ・Inter BEEで制作したビデオクリップが非常によくできており、これに英語のナレーション版の制作を西副部会長と田中伊都名氏に依頼した。

イ. JATET 誌 94 号について

- ・94号は広告掲載申込が20社となり、現在、9月発行に向け、編集作業中である。
- ・95号以降の発行については、後ほどご審議をお願いする。

ロ. JATET ジャーナルについて

- ・「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナル20号は、引き続き、編集作業中である。
- ・「高崎芸術劇場」は、8月上旬にJATETホームページに発行した。
- ・「やまぎん県民ホール」「水戸市民会館」は、原稿執筆依頼書、承諾書を発送済みであり、「やまぎん県民ホール」は今年10月頃の発行、「水戸市民会館」は来年2月頃の発行予定で進めている。

3) 財務報告

清水 康裕 副会長（閲覧資料-財務報告）

- ・毎月、市瀬副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
- ・令和6年度会費納入状況は、添付資料のとおり正会員B2社、正会員C4名、賛助会員B8名が未納となっている。9月に再請求書を送付予定で進めていく。

4) 総務報告

市瀬 守 副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）

- ・毎月、清水副会長と総勘定元帳、事務局職員の勤怠を確認しており問題はない。
- ・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。

5) 国際協力報告

小川 幹雄 執行理事

前回理事会で OISTAT における国際会議が次々に開催されている旨ご報告した。例を挙げれば、イギリスのリーズ、ルーマニアのブカレスト、ジョージアのトビリシでのビエンナーレ等をご紹介したが、他にもロシアのセンターがカザフスタンで若手のための劇場フォーラムを行い、セルビアのノヴィサドで SENA (Southern European & Northern African 南ヨーロッパと北アフリカ) の舞台美術ビエンナーレも秋に開催される。来年の UAE (アラブ首長国連邦) のサルージャで開催される WSD (ワールド・ステージ・デザイン) では建築委員会と技術委員会それぞれのコンペが催される予定である。他に OISTAT 本部と台湾文化省は OISTAT 本部事務局 (ヘッド・クォーター) を 2030 年まで台湾に継続して設置することで合意した。8 月 23 日に調印式のセレモニーが台湾高雄市の国立高雄芸術センターにて開催される。それに伴い、23 日と 25 日に「未来の劇場へ 劇場デザインと劇場技術の持続可能性の彼方に」といった表題のシンポジウムが開催され、会長や前会長、理事、各委員会の委員長が登壇する予定となっている。

6) コンプライアンス報告

西 豊彦 執行理事

・報告事項なし

7) 広報報告

西 豊彦 執行理事

・ JATET 誌 94 号については、今のところ順調に進んでいる。
・ 今回初めて JATET ジャーナルについて、広報部会で内容を確認した。気づいたところは訂正を依頼した。

8) 規程改訂作業部会報告

中川 堅司 専務理事

・ JATET 活動休止届の運用に関連して、入会規程、会費規程の改訂版は後ほどご審議いただく。

9) 事務局報告

イ. 内閣府情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-内閣府情報)

・ 6 月 25 日に「令和 5 年度事業報告書・決算書」の届出を済ませたが補正依頼があり訂正し再提出した。
・ 内閣府 公益法人メールマガジン 第 192 号 (4/17)、臨時号 (4/26)、第 193 号 (5/1)、臨時号 (5/22)、臨時号 (5/27)、第 195 号 (5/29)、第 196 号 (6/12)、臨時号 (6/14)、第 197 号 (6/26)、臨時号 (7/1)、第 198 号 (7/10)、臨時号 (7/16)、第 199 号 (7/24)、臨時号 (7/30)、臨時号 (8/1)、第 200 号 (8/7) を閲覧した。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-経済産業省&総務省等)

・ 経済産業省コンテンツ産業課より周知依頼として、手形等のサイトの短縮への対応について、2025 年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について、「博士人材の活用活躍促進に向けた企業の協力などに関するお願い」について、障害者差別解消法に基づく説明会及び経産省対応指針について、経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課に係る組織改編についての書面が届いた。

ハ. JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）

- ・7月25日に第246号を配信。

JATET誌94号発行について（2024年9月下旬発行予定）、Inter BEE 2024 JATET出展のお知らせ、産業技術史講座「舞台照明用調光装置の系統化調査」のご案内、JATET事務局 夏季休業のお知らせ、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

ニ. 会員情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）

- ・正会員 A (株) サンケン・エンジニアリング 村木 陽児氏 機構部会入部（審議事項）
- ・正会員 A (株) 東京舞台照明 神田 保之氏 照明部会入部（審議事項）
- ・正会員 B (株) 久米設計 田中 伊都名氏 広報部会入部（審議事項）

- ・正会員 A 東芝ライテック(株) 会員登録内容変更
- ・正会員 A 三菱重工機械システム(株) 会員登録内容変更
- ・正会員 A ヒビノスペーステック(株) 会員登録内容変更
- ・賛助会員 A 愛知県舞台運営事業協同組合 会員登録内容変更、役員就任のお知らせ
- ・賛助会員 B 大久保 亜美氏 JATET 活動休止届
- ・賛助会員 B 安藤 尚彦氏 死亡届

- ・正会員 A (株) 東京舞台照明、(株) 東京舞台照明ホールディングス、(株) 東京舞台照明大阪、正会員 A 三精テクノロジーズ(株)、正会員 A 東芝ライテック(株)、賛助会員 A カヤバCS(株)より役員就任のお知らせが届いた。

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ. 諸団体情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-諸団体情報）

- ・第2回伊藤喜朔記念賞実施報告書が届いた。
- ・日本舞台音響事業協同組合より、新役員の案内が届いた。
- ・(一社) 日本建築学会より新役員の案内が届いた。
- ・兵庫県立芸術文化センターより「第19回舞台技術セミナー」開催のご案内が届いた。(8/30日開催)
- ・(公財) 神奈川芸術文化財団より新役員の案内が届いた。
- ・(公社) 日本照明家協会より新役員の案内が届いた。
- ・令和6年度公益社団法人全国公立文化施設協会研究大会資料が届いた。

- ・芸団協メールニュース： 臨時号(4/24)、511号(5/1)、512号(5/15)、513号(6/3)、514号(6/17)、臨時号(6/24)、515号(7/16)、516号(8/1)
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：154号(6/17)、155号(7/16)、臨時号(8/7)
- ・全国アート研修会 in 神戸ほか研修会の案内が届いた。

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

ヘ. 書籍販売状況

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-書籍販売状況）

規格販売状況（別紙資料参照）

- ・2024年8月9日時点で102,600円の売上があった。

- ・吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術 CD が一般、会員を合わせ多く販売している。

ト. 請求書情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-請求書情報)

- ・テトラロジックスタジオから総会議案書の印刷費用の請求書、web 管理、ニュース配信と、総会会場のエッサム神田から会場使用料の請求書が届いた。
- ・その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所の請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-HP アクセス解析)

JATET ホームページのアクセス解析・・・4月～6月までのHP 閲覧状況を閲覧した。

- ・4月のページビュー数は3,084
- ・5月のページビュー数は3,205
- ・6月のページビュー数は2,473

リ. 事務局関連

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-事務局関連)

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・劇場等演出空間運用基準協議会より「劇場等空間の運用および安全に関するガイドライン Ver. 4」が発行された。各社、関連の部署や、関連企業に配布し、安全教育に活用いただきたい。必要な方は、事務局に声掛けいただきたい。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案 JATET 誌 DL に関する規約修正版とクレジットカード決済の契約の件 資料-1
中川専務理事より資料-1に基づき、第 1 号議案 JATET 誌 DL に関する規約修正版とクレジットカード決済の契約の件について、説明があった。

4月開催の第69回定例理事会で、ホームページ上 JATET 誌ダウンロードの件についてご審議いただき、会員限定での無料ダウンロードについて承認いただいた。

その後の事業執行連絡委員会で、ダウンロード規約について審議を重ね、JATET 刊行物のダウンロードに関する規約を取りまとめた。(資料 1-1 を参照)

次に、JATET 誌の有料ダウンロードに伴うクレジットカード決済の契約について検討した。

(資料 1-3 を参照)

ホームページ上での課金システムとして、クレジットカード決済を行うにあたり、決済代行会社と契約をすることを検討している。

SQUARE 株式会社は、申込みなどにかかる手数料 0 円で、大手 5 社のクレジットカード会社での決済に利用できる。ホームページ上での非対面決済については、最大で 3.75%の決済手数料となる。ソフトバンク系の SB ペイメントサービスはクレジット決済、コンビニ決済、PayPay など幅広い決済サービスに対応しているが、基本料金として初期費用 20 万円、月額費用 1 万円がかかる。JATET 誌の有料 DL 販売のニーズがどのくらいあるかを考えると、SQUARE 社の決済サービスを利用することを提案させていただきたい。当面は、非会員向けの JATET 誌ダウンロード販売に使用するが、ホームページ上での運用が順調に行けば、今後、施設見学会、JATET フォーラムの参加費、規格の販売についても同決済サービスを使用していくことにより、事務局経費の削減にも寄与できると考えている。

- ・決済サービスを使用した後の領収書は発行されるのか。(西村副会長)
- ・領収書は、SQUARE 株式会社は決済の領収書は発行されるが細かいところは実際の運用にあたってとなるが基本的には決済の運用会社から発行してもらう予定である。(中川専務理事)
- ・詳細については、また後日確認いただきたい。領収書が発行されないといけないのでお願いしたい。(西村副会長)

中川専務理事の説明の後、まず、第 1 号議案 JATET 誌 DL に関する規約修正版について審議に入り、全員一致で可決承認された。

次に、クレジットカード決済の契約について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 JATET 活動休止届運用に伴う入会規程、会費規程改訂の件 資料-2
 中川専務理事より資料-2 に基づき、第 2 号議案 JATET 活動休止届運用に伴う入会規程、会費規程改訂の件について説明があった。

新年度の 4 月に入り、賛助会員 B で映像部に所属している方が産休を取られており、産休中の会員会費を免除していただけないかと相談があった。4 月の事業執行連絡委員会で審議をして、資料 2-1 に示す通り、活動休止届の書式を定めた。氏名と登録住所で申請して、休止期間と事由を届けてもらうことにしている。当該の賛助会員の方には、この書式で申請してもらい、7 月の事業執行連絡委員会で、本年 4 月 1 日～2025 年 4 月 30 日までの活動休止期間とした。

活動休止届の運用に伴い、入会規程と会費規程の改訂を検討したので、ご審議をお願いする。(資料 2-2 参照)

入会規程について、会員の活動休止と直接の関係はないが、定款の表現と合せるため、(退会) 第 12 条「定款第 10 条の定めにより、会員は、理事会において定める退会届を提出して、任意に退会することができる。」の後に、「提出された退会届は理事会で確認する。」を追記した。また、第 12 条 2 項の「年度末 3 月 31 日付の退会とする」を「年度末 3 月 31 日までの退会とする」に修正した。

活動休止の規定については、第 14 条の後に、第 15 条として活動休止の手続きという項を設け、「第 15 条 会員が本会での活動の休止を希望する場合は、理事会において定める「JATET 活動休止届」を会長に提出して、活動を休止することができる。休止期間は最長 2 年とし、1 ヶ月単位とする。休止期間中の会費は月割で減額または免除する。とし、第 2 項に「休止期間中は会員資格の休止となり、JATET 事業への参加費は一般料金とする」とした。第 15 条以降は条項番号を繰下げ、附則に「この規程は、令和 6 年 9 月 1 日から改正施行する」としている。

会費規程の改定案を示す。(資料 2-8 参照)

会費規程については、第 6 条(納入方法)の後に、(会費の減額または免除) 第 7 条として、「第 7 条 会員から、本会での活動を休止する届出があった場合、休止期間に応じて、会費を月割で減額または免除する。」と追記した。次条は条項番号を繰下げ、附則に「この規程は、令和 6 年 9 月 1 日から改正施行する」としている。

- ・休止期間中の協会会員名簿への掲載はどうなるのか。(西村副会長)
- ・休止期間中であるため会員名簿はそのまま残して良いと思う。(中川専務理事)

中川専務理事の説明の後、第2号議案 JATET 活動休止届運用に伴う入会規程、会費規程改訂について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 3号議案 Inter BEE 2024 展示内容の件

資料-3

中川専務理事より資料-3に基づき、第3号議案 Inter BEE 2024 展示内容の件について説明があった。

11月13日～15日に千葉市・幕張メッセ会場で開催され、今年もJATETは協力団体として展示ブースを無償で1小間設けて展示を行いたい。
JATET 出展の目的は「来場者に JATET の事業活動を広報することを目的として、昨年製作した PRV の英語字幕付き改訂版の再生や活動紹介パネルにより、JATET の事業概要が分かる展示を行う」としている。

展示内容の案としては、

1. JATET の活動内容の紹介（PRV の再生。パネル展示 2～3 枚程度）
2. JATET フォーラム・技術展のセミナー映像のデモ（フォーラム 2022/23）
3. JATET 誌、JATET ジャーナル
4. JATET 規格（閲覧資料の持ち込み）
5. その他（JATET フォーラム 2024/25 のチラシなど）

JATET フォーラム 2022/23 を開催しセミナー内容を収録しているので、デモで流すことを検討している。前回同様 JATET 誌、JATET ジャーナルの展示も検討している。

展示ブース設営は、前日の 11 月 12 日（火）に搬入・小間内のセッティング・チェックを行い、13 日からの会期中は昨年同様に各部会から立ち会い、説明要員をお願いしたいと考えている。15 日の最終日は 17 時よりバラシ、撤去。

- ・実行委員会は立ち上げるのか。（伊東会長）
- ・実行委員会ではなく事業執行連絡会で意見を出し合っていきたい。（中川専務理事）

中川専務理事の説明の後、第3号議案 Inter BEE 2024 展示内容について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 4号議案 JATET フォーラム 2024/25 開催の件

資料-4

中川専務理事より資料-4に基づき、第4号議案 JATET フォーラム 2024/25 開催の件について説明があった。

来年2月13日、14日の2日間を全電通労働会館で予約している。
JATET フォーラム 2024/25 の概算予算書を示す。（資料 4-1 参照）
180 名程度の来場者を想定して、前回と同じ参加費で算出すると会費収入が 62 万円、特定費用準備金が 200 万円あるので、収入合計は 262 万円となる。
支出は全電通労働会館とした場合、ホール利用料と備品関係経費で約 53 万円、記録保存用に固定カメラと移動カメラを入れて 25 万円、セミナー資料制作費 30 万円、チラシ代、講師謝礼として前回と同じ金額で 18 名分約 51 万円、写真撮影、雑費などを含めて、事務費を 5%計上すると、支出合計は 194 万円ほどとなる。収支はプラス 68 万円になる。

会場については、科学技術館サイエンスホール、全電通労働会館が比較的安価で利用できるため、第 68 回事業執行連絡委員会で審議を行った結果、全電通労働会館を仮予約して 7 月 30 日に現地下見を行った。多目的ホールは席数が 420 席で、後方がロールバックチェアになっており、舞台は 3 分割の昇降式になっている。時期的には 2025 年 2 月に空き日があるので、2 月 13 日に午後から仕込み、設営準備、2 月 14 日本番として本予約している。

利用申込書（資料 4-2）、ホールの概要（資料 4-3～5）を示す。
資料 4-6 に請求書を示す。前日のリハ・仕込み日は午後～夜間の利用で 17 万 4,000 円、14 日の本番は 23 万円となり、講師控室として隣接の会議室を利用する予定。
8 月 2 日に利用料の振込を完了している。

本日は、フォーラムの開催日程と会場施設について、ご審議をお願いする。

中川専務理事の説明の後、第 4 号議案 JATET フォーラム 2024/25 開催について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 JATET 誌 95 号以降の発行及び広告料の件

資料-5

中川専務理事より資料-5 に基づき、第 5 号議案 JATET 誌 95 号以降の発行及び広告料の件について説明があった。

JATET 誌 95 号以降について、収益事業である JATET 誌の発行が公益事業比率を圧迫している現状を改善したいと考えている。JATET 誌 94 号は従来通り冊子として発行するが、95 号以降については Web 配信に変更していきたい。全てを Web 配信にした場合、従来通りの広告収入が得られるかという点が懸念される。

今後は会員、広告依頼主、官公庁については従来通り冊子での無料頒布とすると合計で 750 部ほどになる。全国公立文化施設協会加盟館、約 1,300 館への無償頒布が、配送料も含めると大きな経費となっており、ここを Web 配信としたいと考えている。

JATET 誌 93 号の決算書に 95 号の予算書を検討、試算したものを示す。（資料 5-2）
収入として、広告掲載費は 93 号と同様に 17 社からの依頼があったものとして試算した。今年度は、インボイス登録が完了し課税事業者となったため、消費税 38 万円を含んだ 384 万円を計上している。

支出については、編集費、JATET 誌取材交通費、執筆料などは、Web 配信としても必要な経費と考える。冊子の印刷は、官公庁、会員、広告主用、事務局の在庫を含めて合計 750 部としました。印刷部数を減らすことにより、印刷代が 40 万円、送付用の封筒代が 2 万円、送料を 15 万円程度とすることができ、収支 225 万円程度とすることができる。

中川専務理事の説明の後、第 5 号議案 JATET 誌 95 号以降の発行及び広告料について審議に入り、全員一致で可決承認された。

- ・ 広告料はどうするのか。（伊東会長）
- ・ 事業執行連絡委員会では、現在 1 社 1 ページ（20 万円）となっており、今後、例えば半頁で 10 万円にするなど検討の材料になるのではないかと意見もいただいている。具体的な金額については、引き続き、皆様からのご意見をいただきながら進めていきたい。（中川専務理事）

- ・第5号審議内容としては、95号以降は印刷とWeb配信のハイブリッドの発行で進めていいのか。ということでもよろしいのか。(伊東会長)
- ・それをお願いしたい。(中川専務理事)
- ・基本的にハイブリッドで発行することは賛成である。公共ホールに配布した際、舞台技術者の方へ JATET 誌が届いていないというデータもあるので、配信をした場合、JATET 誌 DL に関する規約とセットで見たい方には見られるようになるのは好ましい。広告掲載の問題は、広告料をいただくのかという問題と掲載から数年経ってしまった広告をそのままダウンロード出来るようにしていいのかという2つの問題がある。配信をいつから始めるのかにもよるが、例えば発行から1年後にダウンロードするのであれば、広告箇所を抜いてしまうこともあり得ると思う。JATET 誌発行と同時に配信すると広告が入っていないなければならない。広告が入っていれば広告主は広告をだす意味があるのではないかと。だが、このやり方をずっと続けていいのか問題が生じると思うので、案としては、JATET 誌と配信が同時だが発行後1年から2年という年限を決めてある年限を過ぎると広告ページを削除するという方法もあると思う。過去の JATET 誌については、会社名も変更になったりしている法人もあるので本来なら広告を削除したほうが良いのではないかと考えている。今後も議論していく必要がある。(西理事)
- ・公文協加盟会館には無料ダウンロードでご覧いただく場合、仕組み上どう作りこんでいくのか。公文協加盟会館かどうかの確認作業が必要となるので検討するべきではないか。(西村副会長)
- ・今まで送付してきた公文協加盟会館先はわかるので、パスワードを発行して閲覧してもらう形になるのではないかと。(中川専務理事)
- ・その際は期限付きのパスワードを発行したほうが良い。他に流出してダウンロードされることも懸念される。(西村副会長)
- ・公文協加盟会員に今までは無償で配布してきたが、諸般の事情によりWeb配信となるお知らせと同時に一つだけパスワードをお送りし、一つのパスワードに紐づいて登録されたメールアドレスのみダウンロードでき、それ以上は個々で登録してほしいことも伝えるやり方があるのではないかと。(西理事)

中川専務理事の説明の後、第5号議案 JATET 誌 95号以降の発行について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第6号議案 賛助会員 B 安藤 尚彦氏 ご逝去に伴う退会の件 資料-6
中川専務理事より資料-6に基づき、第6号議案 賛助会員 B 安藤 尚彦氏 ご逝去に伴う退会の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第6号議案 賛助会員 B 安藤 尚彦氏 ご逝去に伴う退会について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第7号議案 正会員 B (株) 久米設計 田中 伊都名氏 広報部会入部の件 資料-7
中川専務理事より資料-7に基づき、第7号議案 正会員 B (株) 久米設計 田中 伊都名氏 広報部会入部の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第7号議案 正会員 B (株) 久米設計 田中 伊都名氏 広報部会入部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 8号議案 正会員 A (株) 東京舞台照明 神田 保之氏 照明部会入部の件 資料-8
中川専務理事より資料-8に基づき、第 8号議案 正会員 A (株) 東京舞台照明 神田 保之氏 照明部会入部の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第 8号議案 正会員 A (株) 東京舞台照明 神田 保之氏 照明部会入部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 9号議案 正会員 A (株) サンケン・エンジニアリング 村木 陽児氏 機構部会入部の件 資料-9
中川専務理事より資料-9に基づき、第 9号議案 正会員 A (株) サンケン・エンジニアリング 村木 陽児氏 機構部会入部の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第 9号議案 正会員 A (株) サンケン・エンジニアリング 村木 陽児氏 機構部会入部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 72 回定例理事会開催日程について

第 72 回定例理事会は、令和 6 年 11 月 22 日 (金) 14 : 00 からの開催予定とする。

- ・今年度始めの所信表明で部会毎ではなく部会を超えて一緒に審議するような内容をぜひやりたいということと、JATET の中だけではなく関連の業界団体と一緒にいろんな審議をしていくべきことがありそうだなとそんなことにも手掛けていきたいと話していた。昨日開催された事業執行連絡委員会のあとで、清水副会長と話しをした内容として、舞台機構設備が常設で全て整えるのではなくて、仮設に頼るケースが非常に増えてきている。海外から持ってくるミュージカルなど指定の位置に吊れるものがなければ仮設で吊ったりすることもあるし、今、アリーナがたくさん作られてきているがコンサートをやる際はほとんど仮設になってきて、仮設を吊りっぱなしにしている状況もある。そうなると法的な規制の問題がでてくるのではないか。(伊東会長)
- ・今のところ規制はない。(間瀬監事)
- ・H 鋼等のトロリーにチェーンブロックを取り付けた場合、労働安全衛生法の規定に基づく、クレーン等安全規則により、移動式クレーンに該当し、設置届の提出、検査済証、有資格者による作業等が必要になるなどを守らなければならない。(西執行理事)。
- ・安全に関わる客席の上に吊っているのは非常に問題が起こりそうなことになるので、仮設を手掛けている企業の方々や業界団体の方々と一緒に審議していくべきではないか。建築部会でもいろいろと審議をしていただいているがこういったジャンルについても法的にどうやって守っていくのか検討していく必要があると思っている。今後、特別なチームを構成して検討して進めていきたいとも思っているのぜひ興味を持って参加していただきたい。(伊東会長)
- ・狭間になっている部分があるので調整をやるということは良いと思う。(間瀬監事)

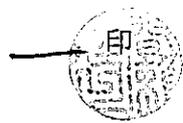
2) 閉会

16 時 5 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和6年8月20日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第71回定例理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 伊東正示)	伊東正示	
監事 (尾澤輝行)	欠席	印
監事 (間瀬勝一)	間瀬勝一	
議事録作成署名人 (小川幹雄)	小川幹雄	 

第 72 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 6 年 11 月 22 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第 72 回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：令和 6 年 11 月 22 日 (金) 14:00~15:20

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL: 03-5289-8858

出席理事：伊東 正示 会長、
西村 岩夫 副会長 (事業担当)、
清水 康裕 副会長 (財務担当)、
市瀬 守 副会長 (総務担当)、
小川 幹雄 理事 (国際渉外担当)、
中川 堅司 専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)
森 健輔 理事
横井 裕 理事

Web 出席理事：西 豊彦 理事 (コンプライアンス担当・広報担当)、
西奈美 博 理事

欠席理事：長谷川 祥久 理事

Web 出席監事：間瀬 勝一、尾澤 輝行

有効理事総数 11 名、出席理事 10 名、欠席理事 1 名
出席率 91% 監事 2 名、事務局 (1 名)、計 13 名
監事を含めた出席率 92%

議事録署名人 (書記) 市瀬 守

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 11 名中、10 名の出席、監事 2 名、事務局 (1 名) にて本理事会
は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|------------|
| 1) 業務報告 | 伊東 正示 会長 |
| 2) 事業報告 | 西村 岩夫 副会長 |
| 3) 財務報告 | 清水 康裕 副会長 |
| 4) 総務報告 | 市瀬 守 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 執行理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 執行理事 |
| 7) 広報報告 | 西 豊彦 執行理事 |

- 8) 規程改訂作業部会報告 中川 堅司 専務理事
9) 事務局報告 中川 堅司 専務理事
10) その他

4. 審議事項

- | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|
| 第1号議案 | 令和7年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件 | 資料-なし |
| 第2号議案 | 黒田 英己氏 正会員C入会の件 | 資料-1 |
| 第3号議案 | 黒田 英己氏 音響部会入部の件 | 資料-2 |
| 第4号議案 | 一般社団法人 天草市芸術文化協会 賛助特別会員入会の件 | 資料-3 |
| 第5号議案 | 世界劇場会議国際フォーラム2025 in ちりゅう後援名義使用許可の件 | 資料-4 |

5. その他

- 1) 第73回定例理事会 開催日程(2月)について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が市瀬 守 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

伊東 正示 会長

下記の通り、第 71 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 6 年 9 月 25 日（水）14:00～ 第 100 回事業執行連絡委員会

令和 6 年 10 月 22 日（火）14:00～ 第 101 回事業執行連絡委員会 を開催した。

2) 事業報告

西村 岩夫副会長（各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・ 11 月 19 日にあきた芸術劇場ミルハスにて施設見学会を開催し、約 70 名が参加し無事に終了した。
- ・ 平塚文化芸術ホールは、施設利用料が必要となり既にお支払いし来年 1 月 29 日で日程は確保している。見学会開催に向け準備を進めていく予定。
- ・ 世田谷区民会館も施設利用料が必要となり、12 月 9 日、16 日を見学候補日としていたが、事業予算案を作成し、収支を見ながら検討することにした。

建築部会では、

- ・ JATET フォーラム 2024/25 セミナーのテーマについて協議した。
JATET 誌 94 号に掲載した劇場・ホールの客席に関する規定についての記事をベースにしなが
ら、客席についてガイドラインにまとめるべき点を洗い出し、セミナーを構成していく
方針となった。
- ・ 劇場のガイドライン作りについて、今後の進め方を協議した。
具体的には、裏方のバルコニー、ギャラリーのあり方や平成 3 年に建設省（現国土交通省）
から通知された、興行場等に係る技術指針について、客席に関する記述だけではなく、他
の条文、解説を読み込んで、修正すべき点を洗い出していくという意見があった。また、
英国劇場技術者協会が中心になってまとめた ABTT のガイドラインの勉強会を引き続き行
い、参考としていくこととした。

機構部会では、

- ・ 各研究会は、点吊装置の一環として、チェーンモーターについて協議した。
チェーンモーターによる仮設も増えてきているので、イベント設営会社やメーカーに共通
した基準について調査することとした。
10 月 15 日（火）から 10 月 18 日（金）にかけて韓国研修視察を実施した。来週の事業執行
連絡委員会で報告を受ける予定である。KTL の方々ともお会いすることが出来た。
チェーンモーターについては、JATET としてこの取り組みについての基本的な考え方を整理
していくべきではないかと清水副会長よりご意見があり事業執行連絡委員会内で議論し
た。
また、今後、劇場における仮設が増えてくることが予想されるため、それに伴う基準が整
備されていないので、JATET の守備範囲としてまとめていきたいと伊東会長よりご意見があ

った。

照明部会では、

- ・ JATET-L-7190（劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン）の改定を粛々と進めている。
- ・ JATET フォーラムでは、照明部会として、EMC 研究会の研究結果と表示研究会の研究結果をそれぞれ 30 分程度の発表とすることを予定している。

音響部会では、

- ・ JATET フォーラムの発表テーマは、音響電源研究会の 200V コンセントについて発表する予定とした。
- ・ 舞台連絡設備研究会は、改定案と系統図案を部会全員に配布して、意見聴取を行った。
- ・ 音響電源研究会は、200V 電源についてパワーアンプの測定実験を行うための測定器、測定治具を準備中である。12 月 3 日前後に実験を行う予定。また、12 月 5 日にパワーアンプメーカー、輸入代理店各社と意見交換会を実施する予定。

映像部会では、

- ・ 10 月 8 日にレーザーによる影響について検証した。
実際にプロジェクターや LED にレーザーを照射して破壊試験を行い、照射時間とエネルギー量の関係を検証した。
- ・ 映像部会でも、電源について検討を始め、NHK ホールで現場の状況を調査した。

広報部会では、

- ・ JATET 誌発行に伴う編集作業について、企画、依頼は JATET 側で行うが、それ以降の執筆者とのやり取りや、誌面の構成など、ある程度グラフィック的な提案もできる編集者に依頼しないと継続できないため、プロの編集者の力を借りる必要があるため、今後、検討していく。
- ・ Inter BEE のプロモーションビデオについて、翻訳作業に協力した。

イ. JATET フォーラム 2024/25 について

- ・ 10 月 21 日（月）14：00～ 第 1 回 JATET フォーラム実行委員会を開催した。
- ・ 11 月 8 日（金）13：00～ 第 2 回 JATET フォーラム実行委員会を開催した。

【開催概要】

令和 6 年度事業 「JATET フォーラム 2024/25」

日時：2025 年 2 月 13 日（木）13:00～21:00（準備・リハーサル）
2025 年 2 月 14 日（金）10:00～18:00（本番）

会場：一般財団法人 全電通労働会館（〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 6）

全体テーマ：『劇場メディアの拡張性について』及び JATET 技術系部会の調査研究発表

『劇場メディアの拡張性について』

- ・ 基調講演では、NHK テクノロジーズの方を招聘して、劇場メディアの拡張性について講演をいただく予定。パネルディスカッションにゲストとして、せたがや文化財団 世田谷パブリックシアターの高萩館長に参加を打診中である。

『JATET 技術系部会の調査研究発表』

映像部会：【内容】『劇場メディアの拡張性について』 劇場運営における IP リモートプロダクションの紹介

『映像演出機材について』 舞台演出におけるレーザー光線の安全運用と対策 【時間 45 分】

音響部会：【内容】音響電源の 200V 化に向けて 【時間 45 分】

200V コネクタの説明・安全注意事項

建築部会：【内容】劇場・ホールの法令に関する規制内容について 【時間 45 分】

客席での課題について

照明部会：【内容】EMC 研究会の実験報告、演出空間用照明器具 明るさの表示について 【時間 60 分】

機構部会：【内容】韓国舞台機構の今 【時間 45 分】

入場券は、前売券：会員 3,000 円／一般 5,000 円／学生 1,000 円

当日券：会員 4,000 円／一般 6,000 円／学生 1,000 円

- ・今回はリアル開催のみとし記録用として映像カメラマン 1 名をいれる。
- ・チラシは印刷せず、HP 上での掲載のみとする。
- ・毎回依頼している 13 団体へ共催・協力・後援依頼を送付済。

ロ. Inter BEE 2024 出展報告

- ・11 月 13 日から 15 日に千葉幕張メッセで開催された Inter BEE 2024 へ JATET ブースを出展し約 120 名の方にお越しいただいた。
- ・広報を目的とし会員名簿、JATET 紹介ビデオ、JATET 誌などを展示した。
- ・Inter BEE 全体では、3 日間で 33,853 名の来場者となった。

ハ. JATET 誌 94 号、95 号について

- ・94 号は 10 月初旬発行済である。
- ・95 号は 11 月 8 日に広告掲載依頼書を発送済みである。前回第 71 回定例理事会で審議いただいたが 95 号よりダウンロードおよび JATET 誌印刷のハイブリッドの発行となる。公文協加盟館への発送は 94 号までとしており、今後はダウンロードできる仕組みを今年度中に構築予定。また、JATET 非会員の方のみ広告頁を今まで 1 頁での申込を受付けていたが、半頁でも申込いただけるようにしている。

ニ. JATET ジャーナルについて

- ・「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナルは、9 月 2 日に長谷川氏より原稿入稿の連絡があった。内容に未提出、検討中の箇所があったため再提出いただきたいと依頼済みである。また、編集は任せるということであったため、表紙、裏表紙、目次を付けたものを長谷川氏に送付している。今後の体裁については、A4 印刷を考慮した PDF ではなく、Web レイアウト形式として進めていく。
- ・「やまぎん県民ホール」は残り 1 名未原稿があり、提出され次第、執筆者の皆様へレイアウトの確認を行う予定。
- ・「水戸市民会館」は来年 2 月頃、「小田原三の丸ホール」は来年 5 月頃の発行予定で進めている。

3) 財務報告

清水 康裕 副会長（閲覧資料-なし）

- ・毎月、市瀬副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認を
しており問題はない。
- ・令和6年度会費納入状況は、未納者へ納入期限を11月29日として再請求を行い、現在、正
会員Cが1名、賛助会員2名が会費未納である。

4) 総務報告 市瀬 守 副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）

- ・毎月、清水副会長と総勘定元帳、事務局職員の勤怠を確認しており問題はない。
- ・毎年10月に最低賃金の改定が行われ令和6年度の地域別の最低賃金は、東京都の場合で時
給1,163円となった。10月1日からアルバイトの時給を1,163円に変更してお支払いして
いる。
- ・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。

5) 国際協力報告 小川 幹雄 執行理事

8月23日に台湾の国立高雄芸術センターにてOISTAT本部事務局を2030年まで引き続き台
北に設置する調印式が行われた。振り返れば2005年にオランダのアムステルダムから台北
にOISTAT本部事務局が移されてから3度目の継続期間に入ることになった。

11月12日に開催された日生劇場の第31回舞台フォーラム2024にOISTAT日本センターよ
り後援名義使用の許可を承諾した。JATETも後援名義使用許可を承諾しており名前を連ね
た。

来年、UAE（アラブ首長国連邦）のサルージャで開催されるWSD（ワールド・ステージ・デ
ザイン）では建築委員会のコンペや技術委員会の授賞式があることは前回報告している
が、他に音響デザインサブ委員会の「サウンドキッチン」というタイトルの学生や若手部
門のフェスタもその一環として開催することになっている。研究調査委員会と広報委員会
もそのフェスタに絡めてシンポジウム等のイベントを開催する予定である。

WSD（ワールド・ステージ・デザイン）もプラハ・カドリエンナーレPQも舞台美術デザイン
に限らず、各委員会およびサブ委員会によるイベントが活発になってきたようである。

6) コンプライアンス報告 西 豊彦 執行理事

- ・報告事項なし

7) 広報報告 西 豊彦 執行理事

- ・JATET誌94号が無事に発行され、Inter BEE 2024でも受付の協力を行った。
- ・JATET誌95号については、順調に進んでいる。

8) 規程改訂作業部会報告 中川 堅司 専務理事

- ・報告事項なし

9) 事務局報告

イ. 内閣府情報 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-内閣府情報）

- ・内閣府 公益法人メールマガジン 臨時号（9/4）、第202号（9/4）、第203号（9/18）、臨時
号（9/30）、臨時号（10/1）、第204号（10/9）、第205号（10/23）、臨時号（10/30）、臨時
号（11/1）、第206号（11/13）、臨時号（11/14）、臨時号（11/20）を閲覧した。

ロ. 経済産業省情報&総務省等 中川 堅司 専務理事（閲覧資料-経済産業省&総務省等）

- ・経済産業省コンテンツ産業課より周知依頼として、2024年9月「価格交渉促進月間」の実
施について、「南海トラフ地震臨時情報」及び「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の周
知・広報に関する依頼、消費税のインボイス制度への対応状況に関するアンケートについ
て、サービス産業動態統計調査の開始に係る事前通知について、テレワーク月間に関する

協力願ひ、第1回・第2回官民合同テロ・誘拐対策実施訓練（簡易版）参加者募集について、下請取引の適正化について、令和6年度奥能登豪雨の影響を受けている下請中小企業との取引に関する配慮についての書面が届いた。

中小企業庁より、大雨災害に係る下請中小企業との取引に関する要請文および令和6年度年末配慮要請文の発出について書面が届いた。

ハ. JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）

- ・10月23日に第247号を配信。
あきた芸術劇場ミルハス」施設見学会開催（2024年11月19日（火））、JATET ジャーナル vol.20「高崎芸術劇場」公開、JATET 誌94号について、JATET 誌95号について（2025年2月末発行予定）、JATET フォーラム2024/25開催予告、Inter BEE 2024 JATET 出展ブースのお知らせ、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。
- ・11月11日に特別号を配信。
「あきた芸術劇場ミルハス」施設見学会 申込締切迫る、Inter BEE 2024 今週開催について配信した。

ニ. 会員情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）

- ・ネットワーク(株) 黒田 英己氏 正会員 C 入会申込・音響部会入部（審議事項）
- ・一般社団法人 天草市芸術文化協会 賛助特別会員入会申込（審議事項）
- ・正会員 A ヤマハサウンドシステム(株)住所移転のお知らせが届いた。
- ・賛助会員 A (株) オーディオブレインズ 登録内容変更（住所）が届いた。
- ・賛助会員 A Mayr Japan 合同会社 登録内容変更（住所）が届いた。

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ. 諸団体情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-諸団体情報）

- ・日生劇場 「第31回 舞台フォーラム2024」後援名義使用許可について依頼が届いた。（開催時期が理事会前の日時のため事業執行連絡会で執行理事承認のもと許可を提出済み。）
- ・「照明家手帳2025」広告掲載のお願いが届いた。
- ・2025年版経済産業ハンドブックの名簿訂正のお願いとお知らせが届いた。
- ・(公社) 日本芸能実演家団体協議会より役員就任のお知らせが届いた。
- ・株式会社 LTG、Mayr Japan 合同会社より住所変更のお知らせが届いた。
- ・(株)永田音響設計 創立50周年記念誌と記念品が届いた。
- ・第30回「ニッセイ・バックステージ賞」および第30回記念特別表彰「奨励賞」受賞者決定のお知らせが届いた。
- ・「水戸市民会館 記録集」の寄贈があった。
- ・世界劇場会議国際フォーラム2025 in ちりゅう後援名義使用許可依頼が届いた。

(審議事項)

- ・芸団協メールニュース：519号(9/2)、臨時号(9/6)、520号(9/17)、521号(10/1)、522号(10/15)、523号(11/1)、524号(11/15)
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：臨時号(8/30)、157号(9/17)、158号(10/15)、臨時号(10/17)、159号(11/15)

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

へ. 書籍販売状況

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-書籍販売状況)

規格販売状況 (別紙資料参照)

- ・2024年11月15日時点で186,300円の売上があった。
- ・吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術CDが一般、会員を合わせ多く販売している。

ト. 請求書情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-請求書情報)

- ・8月22日に第一古川ビル3階A室賃貸の再契約を行い、再契約料232,900円(消費税23,290円込み)合計256,190円を支払った。
- ・劇場等演出空間運用基準協議会の年度会費3万円と広告掲載費5万円の請求書、JATET誌94号の編集費、印刷代、発送代行料の請求書が届いた。
- ・その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、コピー代その他の請求書関連を閲覧した。

チ. HPについて

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-HPアクセス解析)

JATET ホームページのアクセス解析・・・7月～9月までのHP閲覧状況を閲覧した。

- ・7月のページビュー数は2,431
- ・8月のページビュー数は2,363
- ・9月のページビュー数は2,473

リ. 事務局関連

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-事務局関連)

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・前回、第71回定例理事会で、JATET誌DLに関してクレジットカード決済会社としてSQUARE株式会社を使うことが承認されたが、テトラロジックスタジオの竹本氏から、NOTEというプラットフォームで決済と配布が自動で出来ると提案があり、検討を始めた。詳細が決まったら次回の定例理事会で、あらためて報告する。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第1号議案 令和7年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件 資料-なし

中川専務理事より第1号議案 令和7年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件について、説明があった。

定款第16条の定めにより、「通常社員総会は、毎年1回毎事業年度終了後3箇月以内で開催する。」とあり、また、定款第16条と同内容が、社員総会運営規則第3条(開催)に定められている。

まずは、令和7年度総会の開催についての審議をお願いする。内閣府からは、総会の「開催」そのものを決議したという記述で報告すること、総会を招集することを決議した後に、総会の日時及び場所、社員総会の目的である事項、その他の法で定められた事項を定めなければならないと指導がある。

中川専務理事の説明の後、第1号議案 令和7年度総会開催について審議に入り、全員一致で可決承認された。

次に、第1号議案の後半、令和7年度総会の方法並びに日時場所の決定について審議するため、中川専務理事より説明があった。

今年5月の総会は、エッサム神田を会場としてリアル出席のみで開催した。来年の総会も同様にリアル出席のみでの開催としてよろしいかどうか審議願いたい。

また、日時場所について5月の第4週の日時で開催場所はどこを使用するのかについても審議願いたい。

中川専務理事の説明の後、令和7年度総会開催の方法について審議に入り、本年と同様、リアル開催のみとすることに、全員一致で可決承認された。

続いて令和7年度総会開催日時場所について審議に入り、日時は5月30日（金）、選挙がないため14時00分からの開始、場所はエッサム神田ホールとすることに、全員一致で可決承認された。

- ・懇親会の開催はどうなるのか。（小川）

- ・懇親会につきましてもご審議を願いたい。（中川）

本年度同様に懇親会を開催するかどうか審議に入り、懇親会を開催することに、全員一致で可決承認された。

第2号議案 黒田 英己氏 正会員C入会の件

資料-1

中川専務理事より資料-1に基づき、第2号議案 黒田 英己氏 正会員C入会の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第2号議案 黒田 英己氏 正会員C入会について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第3号議案 黒田 英己氏 音響部会入部の件

資料-2

中川専務理事より資料-2に基づき、第3号議案 黒田 英己氏 音響部会入部の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第3号議案 黒田 英己氏 音響部会入部について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第4号議案 一般社団法人 天草市芸術文化協会 賛助特別会員入会の件

資料-3

中川専務理事より資料-3に基づき、第4号議案 一般社団法人 天草市芸術文化協会 賛助特別会員入会の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第4号議案 一般社団法人 天草市芸術文化協会 賛助特別会員入会について審議に入り、全員一致で可決承認された。

- ・誌面で購読されたいという希望をされていらっしゃる方には、会員になっていただくと冊子でお読みいただくことが出来ることを伝えていただきたい。（西）

第5号議案 世界劇場会議国際フォーラム2025 in ちりゅう

後援名義使用許可の件

資料-4

中川専務理事より資料-4に基づき、第5号議案 世界劇場会議国際フォーラム2025 in ちりゅう後援名義使用許可の件についての説明があった。

世界劇場会議名古屋から、来年2月26日、27日に開催予定の「世界劇場会議国際フォーラム2025 in ちりゅう」の後援名義使用許可について申請が届いている。

中川専務理事の説明の後、第5号議案 世界劇場会議国際フォーラム2025 in ちりゅう後援

名義使用許可について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

- ・「那覇文化芸術劇場なは一と」のジャーナル発行が遅れているので、完成するように伝えてほしい。(西)
- ・所々抜けている箇所がある。事務局では竹本氏に表紙、裏表紙、目次の写真をレイアウトしていただき長谷川氏に送付している。(中川)
- ・作業自体は長谷川氏に頼んでいるのか。(西村)
- ・長谷川氏が原稿関係を全て取りまとめていただいている。長谷川氏から原稿のご担当の方に依頼をされている。(中川)
- ・事務局としては、長谷川氏に確認するしかない。(伊東)
- ・長谷川氏より事務局から誰に連絡を取ってほしいなどの指示があれば連絡をすることは可能である。(中川)

- ・JATET 誌の編集の件は広報部会の古橋部会長より連絡があり、検討を進めていただいている。

1) 第 73 回定例理事会開催日程について

第 73 回定例理事会は、令和 7 年 2 月 28 日（金）14：00 からの開催予定とする。

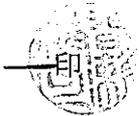
2) 閉会

15 時 20 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和6年11月22日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第72回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 伊東正示）	伊東 正示	
監事（尾澤輝行）	尾澤 輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬 勝一	
議事録作成署名人（市瀬 守）	市瀬 守	

第 73 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 7 年 2 月 28 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第 73 回 定例理事会 議事録 (正)

日 時 : 令和 7 年 2 月 28 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 53

場 所 : JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL : 03-5289-8858

出席理事 : 伊東 正示 会長、
西村 岩夫 副会長 (事業担当)、
市瀬 守 副会長 (総務担当)、
小川 幹雄 理事 (国際渉外担当)、
中川 堅司 専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)
森 健輔 理事

Web 出席理事 : 清水 康裕 副会長 (財務担当)、
西 豊彦 理事 (コンプライアンス担当・広報担当)、
西奈美 博 理事
長谷川 祥久 理事

欠席理事 : 横井 裕 理事

欠席監事 : 間瀬 勝一、尾澤 輝行

有効理事総数 11 名、出席理事 10 名、欠席理事 1 名
出席率 91% 事務局 (1 名)、計 11 名

議事録署名人 (書記) 西村 岩夫

議事録要旨 : 定例理事会

定足数確認 : 有効理事総数 11 名中、10 名の出席、事務局 (1 名) にて本理事会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|------------|
| 1) 業務報告 | 伊東 正示 会長 |
| 2) 事業報告 | 西村 岩夫 副会長 |
| 3) 財務報告 | 清水 康裕 副会長 |
| 4) 総務報告 | 市瀬 守 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 執行理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 執行理事 |

- | | |
|---------------|------------|
| 7) 広報報告 | 西 豊彦 執行理事 |
| 8) 規程改訂作業部会報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 9) 事務局報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 10) その他 | |

4. 審議事項

- | | | |
|--------|---------------------------------|------|
| 第1号議案 | 令和7年度事業計画の件 | 資料-1 |
| 第2号議案 | 令和7年度事業予算の件 | 資料-2 |
| 第3号議案 | 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件 | 資料なし |
| 第4号議案 | 令和7年度資金運用計画の件 | 資料-3 |
| 第5号議案 | JATET誌96号、97号の件 | 資料-4 |
| 第6号議案 | 事務局職員採用の件 | 資料-5 |
| 第7号議案 | (株)ハンイル・ティーエンシー 賛助会員A入会の件 | 資料-6 |
| 第8号議案 | 賛助会員A 愛知県舞台運営事業協同組合 退会の件 | 資料-7 |
| 第9号議案 | 賛助会員A (株)永田音響設計 和田 竜一氏 音響部会入部の件 | 資料-8 |
| 第10号議案 | ラディックス社 Alrit サーバーの契約更新の件 | 資料-9 |

5. その他

- 1) 第74回定例理事会 開催日程(4月)について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が西村 岩夫 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

伊東 正示 会長

下記の通り、第 72 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 6 年 11 月 29 日（水） 14:00～ 第 102 回事業執行連絡委員会

令和 6 年 12 月 25 日（水） 14:00～ 第 103 回事業執行連絡委員会

令和 7 年 1 月 31 日（水） 14:00～ 第 104 回事業執行連絡委員会

令和 7 年 2 月 19 日（水） 14:00～ 第 105 回事業執行連絡委員会 を開催した。

2) 事業報告

西村 岩夫 副会長 （各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・ 1 月 29 日に平塚文化芸術ホールでの施設見学会を開催した。96 名が参加し無事に終了した。
- ・ 世田谷区民会館の施設見学会は、3 月 12 日に開催が決定し、現在参加申込受付中である。
- ・ JATET ジャーナルは、編集にだいぶ時間を要したが、2 月に入り「特集：那覇文化芸術劇場 なは一と」を公開した。
- ・ 2 月 14 日に開催された JATET フォーラム 2024/25 において、受付、進行 PC 操作などの協力を行なった。
- ・ 2025 年度の施設見学会は、4 月以降に候補を決めていくが、4 箇所を開催を予定している。

建築部会では、

- ・ JATET フォーラム 2024/25 セミナーの内容と登壇者について協議し、フォーラム当日は部会から 4 名が登壇した。
- ・ 来年度の事業計画について、ここ数年、劇場のガイドラインの作成をテーマとしてきたが、来年度もそれを継続する。ガイドラインの中のどこをまとめるのかを明記して、それを実現することとした。
- ・ 部会全体の活動とは別枠で、客席の法令の改訂に関して昨年 5 月 22 日に公明党の三浦議員に面会して以降、選挙や国会日程の関係で、国交省のご担当者への説明とご相談の会が開催できていない。何とか年度内の 3 月から 4 月頃までに、国交相との勉強会を開催すべく、三浦議員の秘書の方と連絡をとっている。

機構部会では、

- ・ 仮設吊物の安全について議論した。海外の安全規格と JATET の吊物機構安全指針との整合性や新規格の制定にあたり、既に導入済みの旧規格のもとに設置された設備などの検討事項がある。
欧州規格の EN17206、日本舞台技術安全協会の安全規格を調査することとし、まずは EN17206 の規格書籍を購入して和訳し、JATET としてこの規格の解釈をまとめることを来年度の事業計画に盛り込むことを検討する。
- ・ JATET フォーラム 2024/25 では、韓国の HANIL TNC（ハンイル・ティーエンシー）の方を講

師に迎え、「韓国舞台機構の今」というテーマでセミナーを行なった。

照明部会では、

- ・ JATET-L-7190（劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン）の改定について、モニター卓と CPU 基盤等の内容の整合や調光卓の劣化についての協議を継続した。
- ・ JATET フォーラム 2024/25 では、EMC 研究会の電磁ノイズ実験結果の報告と、LED 照明器具表示規格研究会からスポットライトの明るさの表示についてのセミナーを実施した。

音響部会では、

- ・ 舞台連絡設備研究会では、劇場等演出空間における舞台連絡設備指針の案がまとまり、部会内での精査を行なった。年度末～年度明け 4 月初旬までの規格発行を目指して進めている。来年度はセミナー開催を検討している。
- ・ 音響電源研究会は、100V/200V 電源について、12 月 2 日～4 日までパワーアンプの測定実験を行なった。
- ・ 12 月 5 日にパワーアンプメーカー、輸入代理店各社と意見交換会を実施した。
- ・ JATET フォーラム 2024/25 では、JATET 推奨の 200V 用差込接続器と安全注意事項についてのセミナーを実施した。

映像部会では、

- ・ 事業執行連絡委員会にて、年度末までの部会活動に関連して、JATET 誌の発行時期を 4 月とする提案を行なった。
- ・ JATET フォーラム 2024/25 では、劇場メディアの拡張性について IP リモートプロダクションによる劇場運用、映像演出機材に関して舞台演出におけるレーザー光線の安全運用と対策についてのセミナーを実施した。

広報部会では、

- ・ JATET 誌発行に伴う編集作業について、外部の編集者を検討し、事務局を含めて打合せを行なった。来年度に発行の JATET 誌 96 号から参画してもらう方向で、今後見積依頼をして最終の詰めを行なっていく。
- ・ JATET フォーラム 2024/25 では、運営側としてタイムキーパーなどの協力を行なった。

イ. JATET フォーラム 2024/25 について

- ・ 令和 6 年度事業「JATET フォーラム 2024/25」は、神田駿河台の全電通労働会館にて 2025 年 2 月 13 日（木）に仕込み準備・リハーサルを行い、2 月 14 日（金）に本番を開催した。
- ・ 劇場メディアの拡張性をテーマに、NHK テクノロジーズ様の基調講演の後、パネルディスカッションを行なった。
- ・ 午後の部では、技術系 5 部会による調査研究発表を行なった。
- ・ 参加者は 67 名となった。

ロ. JATET 誌 95 号について

- ・ 95 号は、2 月 10 日に編集レイアウトが完了し、プルーフ確認を経て現在印刷に入っている。3 月 7 日納品予定。
- ・ 95 号より、ダウンロードおよび JATET 誌印刷のハイブリッドとなる。

ハ. JATET ジャーナルについて

- ・ JATET ジャーナルは、編集にだいぶ時間を要したが、2 月に入り「特集：那覇文化芸術劇場 なは一と」を公開した。
- ・ 「水戸市民会館」は原稿の入稿は完了して、編集作業に入っている。

・「やまぎん県民ホール」は残り 1 名未原稿があり、提出され次第、執筆者の皆様へレイアウトの確認を行う。今後の体裁については、A4印刷を考慮したPDFではなく、Web レイアウトとして進めていく。

3) 財務報告

清水 康裕 副会長（閲覧資料-なし）

- ・毎月、市瀬副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしておき問題はない。
- ・年会費の入金状況として、現在賛助会員である韓国 KTL の 2 名の方が未納となっている。引き続き年会費支払いのお願いをメールで行う。

4) 総務報告

市瀬 守 副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）

- ・毎月、清水副会長と共に総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしておき問題はない。
- ・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。

5) 国際協力報告

小川 幹雄 執行理事

・昨年 11 月の前回理事会の後、OISTAT 日本センターでニュース Vol. 25 を発行した。それ以前に JATET 事業執行連絡委員会でも報告した活動内容が網羅されている。その後、各国で 2025 年に OISTAT と各国の劇場技術協会がコラボで開催するショーテック、劇場技術展を紹介した。アメリカ合衆国劇場技術協会（USITT）の年次総会とステージ・エキスポが 3 月 5 日～8 日にオハイオ州のコロンバスで開催され、OISTAT アメリカセンターが共催している。カナダでは、カナダ劇場技術協会（CITT）と OISTAT カナダセンターが 4 月 16 日～17 日にモントリオールで技術エキスポを、また 8 月 13 日～16 日にハリファックスで年次総会とトレードショーを開催する。ドイツ劇場技術協会（GTJH）と OISTAT ドイツセンターは、5 月 20 日～22 日にアリーナベルリンでショーテック 2025 を開催する。英国劇場技術者協会（ABTT）のシアターショーは、今年も 6 月 4～5 日にロンドンで開催され、OISTAT 英国センターが協力している。日本センターでは、2025 年の年会費を台北本部に納付した。

6) コンプライアンス報告

西 豊彦 執行理事

- ・特に報告事項や問題はなし

7) 広報報告

西 豊彦 執行理事

- ・JATET 誌 95 号については、順調に進んでいる。

8) 規程改訂作業部会報告

中川 堅司 専務理事

- ・報告事項なし

9) 事務局報告

イ. 内閣府情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-内閣府情報）

- ・内閣府 公益法人メールマガジン 第 207 号（11/27）、臨時号（12/2, 3, 5）、第 208 号（12/11）、臨時号（12/20, 23）、第 209 号（12/25）、臨時号（12/26）、第 210 号（1/8）、臨時号（1/10, 14, 15, 16）、第 211 号（1/22）、臨時号（1/23, 2/4）、第 212 号（2/12）、臨時号（2/14）を閲覧した。
- ・「事業計画書等の提出」について案内が届いた。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-経済産業省&総務省等）

- ・インボイス制度に関する周知依頼文について、振興基準改正に伴うパートナーシップ構築宣言のひな形改正について、冬季の省エネルギーの取組について、団体等検定制度に係る御

協力の御願ひについて、令和6年分の所得税の確定申告及び事業者のデジタル化促進に関する周知の御願ひについて、第3回・第4回官民合同テロ・誘拐対策実施訓練（簡易版）参加者募集についての書面が届いた。

ハ. JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-なし）

- ・12月23日に第248号配信。

JATET フォーラム 2024/25（2025年2月14日（金）開催）、「ひらしん平塚文化芸術ホール」施設見学会 開催決定（2025年1月29日（水））、JATET 誌95号 広告掲載申込 募集中、Inter BEE 2024 JATET 出展ブース報告、JATET 事務局 冬季休業のお知らせ、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

- ・1月7日に第249号配信。

「ひらしん平塚文化芸術ホール」施設見学会 参加申込受付中、JATET フォーラム 2024/25（2025年2月14日（金）開催）、KAAT 舞台技術講座 2025について、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

- ・1月14日に第250号配信。

JATET フォーラム 2024/25（2025年2月14日（金）開催）申込受付開始、「ひらしん平塚文化芸術ホール」施設見学会 参加申込受付中、KAAT 舞台技術講座 2025について、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

- ・2月4日に第251号配信。

JATET フォーラム 2024/25（2025年2月14日（金）開催）参加申込受付中、「ひらしん平塚文化芸術ホール」施設見学会 開催報告、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

- ・2月7日に特別号配信。

JATET フォーラム 2024/25（2025年2月14日（金）開催）開催迫る！について配信した。

- ・2月19日に第252号配信。

JATET フォーラム 2024/25 開催報告、「世田谷区民会館」施設見学会 参加申込受付中（2025年3月12日（水）開催）、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について配信した。

ニ. 会員情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）

- ・（株）永田音響設計 和田竜一氏より音響部会参加申込書が届いた。（審議事項）
- ・（株）シミズオクトより、代表取締役会長 清水 卓治（しみずたくじ）氏ご逝去の報が届いた。
- ・韓国の（株）ハンイル・ティーエンシーから賛助会員A入会申込書が届いた。（審議事項）
- ・賛助会員A 愛知県舞台運営事業協同組合より退会届が届いた。（審議事項）
- ・賛助会員A（株）パシフィックアートセンターより登録内容変更届が届いた。
- ・賛助会員特別の公益財団法人神奈川芸術文化財団 神奈川県立県民ホールが長期の休館に入るため、法人・団体名を財団名のみとし、所在地、担当者を神奈川芸術劇場 KAAT とする登録内容変更届が届いた。

審議事項については、後ほど審議をお願いします。

ホ. 諸団体情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-諸団体情報)

- ・ (公社) 日本照明家協会 2024 年度舞台・テレビジョン照明のための公開講座のお知らせが届いた。
- ・ 税理士法人 尾澤会計事務所より役員交代のお知らせが届いた。
- ・ NHK より、テレビ等受信機設置状況の確認と放送受信契約のお願い書が届いた。
- ・ (株) 映像センターより、本社オフィス、東雲オフィス移転の案内が届いた。

- ・ 芸団協メールニュース： 525 号 (12/2)、526 号 (12/16)、527 号 (1/6)、528 号 (1/15)、529 号 (2/3)、臨時号 (2/5)、530 号 (2/17)
- ・ 全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：臨時号 (12/4)、160 号 (12/16)、臨時号 (1/7)、161 号 (1/15)、臨時号 (2/7)、162 号 (2/17)

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

ヘ. 書籍販売状況

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-書籍販売状況)

規格販売状況 (別紙資料参照)

- ・ 2025 年 2 月 15 日時点で 210,800 円の売上があった。
- ・ 吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術 CD が、一般、会員を合わせて多くを販売している。

ト. 請求書情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-請求書情報)

- ・ 日本エレクトロニクスショー協会より、Inter BEE 2024 のレンタルスマートホンの請求書が届いた。
- ・ OISTAT 日本センターの年会費 10 万円の請求書が届いた。
- ・ (株) エッサム神田ホールより、令和 7 年 5 月開催の通常総会の会議室使用料の請求書が届いた。
- ・ その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、コピー代その他の請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-HP アクセス解析)

JATET ホームページのアクセス解析・・・10 月～1 月までの HP 閲覧状況を閲覧した。

- ・ 10 月のイベント数は 8,360、総ユーザー数は 888
- ・ 11 月のイベント数は 6,606、総ユーザー数は 759
- ・ 12 月のイベント数は 7,463、総ユーザー数は 819
- ・ 1 月のイベント数は 9,484、総ユーザー数は 973

リ. 事務局関連

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-事務局関連)

- ・ JATET 誌について、会員向けの無償ダウンロードをいただく準備は整いつつあるが、非会員向けの有償ダウンロード販売に関して、SQUARE の決済サービスを利用した申込ページの案を作成した。
非会員の方が JATET 誌を購入したい場合は、購入ボタンを押すとダウンロード規約の表示がされ、承諾すると決済のページに移行するようになっている。今後、金額など詳細を詰めて運用準備に入る予定である。
- ・ JATET フォーラム 2024/25 の参加費について、従来の銀行振り込みに加え、SQUARE のクレジットカード決済を採用し、問題なく運用ができた。現在、世田谷区民会館施設見学会についても、同様の方式を使用している。
- ・ JATET ジャーナルについて従来、ホームページからのプリントアウトを想定して、A4 版の

PDF 形式でダウンロードできる形になっていたが、スマートホンなどでの閲覧を考慮して、PDF ファイルを開くのではなく WEB ページの形式で閲覧できるように検討した。

資料として、Vol.22「水戸市民会館」で採用する案を示す。トップページから、項目をクリックするとその項目の記事に切り替わるような構成としている。

- ・その他、協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧する。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案 令和 7 年度事業計画の件

資料-1

中川専務理事より第 1 号議案 令和 7 年度事業計画の件について、説明があった。

通常総会の議案書に入れる報告事項として、第 1 号報告 令和 7 年度事業計画書の案を示す。令和 7 年度は、定款に基づき、事業活動を定着させ推進する年度となり、公益活動を活発に行うとともに本会の活動を積極的に全国向けに訴求する体制を強化するとしてある。1. 会議 1) 総会 2) 理事会、2. 委員会 1) 事業執行連絡委員会、3. 部会計画 1) 教育研修 2) 建築 3) 機構 4) 照明 5) 音響 6) 映像 7) 広報、4. JATET フォーラム、5. 国際交流、6. 国内交流、7. 発刊物について、計画案を説明した。

本日の審議で承認を得られたら、3 月末日までに内閣府に、令和 7 年度の実業計画として提出する。

中川専務理事の説明の後、第 1 号議案 令和 7 年度事業計画の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 令和 7 年度事業予算の件

資料-2

中川専務理事より資料-2 に基づき、第 2 号議案 令和 7 年度事業予算の件について説明があった。

先ほどの事業計画案を基に予算案を作成した。総会議案書に入れる第 2 号報告として、令和 7 年度収支予算書の案を示す。令和 7 年度は、受取入会金として、正会員 A が 1 社、正会員 B が 1 社、正会員 C が 1 名、賛助会員 A が 2 社、賛助会員 B が 2 名の入会を想定している。

正会員 A が 18 社、正会員 B が 9 社、正会員 C が 25 名、賛助会員 A が 28 社、B が 33 名、賛助会員特別が 10 団体となる予定で、新規入会想定分を合せて、合計 16,505,000 円となり、入会金との合計は 17,355,000 円となる。

事業収益は、フォーラムの開催収益として 400,000 円を計上した。参加費を 4,000 円として、参加者を 100 名と想定している。発刊物の販売収益は 400,000 円、施設見学会は、教育研修部会の計画として 4 施設を考えており、見学会資料代として、1,185,000 円の収益を予定している。

従来、JATET 誌の発行は年 2 回としているが、部会報告の正確性を考慮して事業執行連絡委員会で審議した結果、来年度以降は年度末の 3 月に発行していたものを新年度 4 月の発行とすることになった。これにより、来年度は 1 号の発行となり、JATET 誌の広告収益は、20 社からの広告掲載を想定して、4,000,000 円とした。事業の収益としては 5,985,000 円となり、入会金・会費収入を加えた経常収益の合計は 23,340,000 円となる。

資料 2-2 に事業費の内訳を示す。給料手当は今年度と同様とした。部会費は、各部会からの予算金額をそのまま入れてあり、合計金額は 2,600,000 円となる。JATET フォーラム開催費は、会場費その他の経費で 1,000,000 円を予算として見ている。Inter BEE 展示開催費と

して、今年度の実績を元に 150,000 円を計上した。JATET ジャーナルは、3 施設分として 3 号の発行を目指して 450,000 円を計上した。ホームページ運用費は、例年 450,000 円ほどを見ているが、Web ページの改修費用として 450,000 円程度を想定して 900,000 円とした。JATET NEWS 発行費は例年通り。海外交流費は、OISTAT 会費で 100,000 円、国内交流費は、全国公立文化施設協会、基準協その他で 100,000 円とした。施設見学会費用は、教育研修部会の予算に合せて 879,200 円、会場使用料など必要経費として 300,000 円を計上した。JATET 誌発行費について、冊子の印刷は会員、官公庁、広告主用、事務局の在庫を含めて 750 部と想定して、1,500,000 円を計上した。福利厚生費その他の項目は例年並みとしている。

資料 2-3 に管理費の内訳を示すが、ほぼ固定費的に出ていく内容で、今年度と同様の金額を計上した。資料 2-1 に戻って、事業費の合計が 20,184,200 円、管理費が 6,872,000 円となり、経常費用の合計は 27,056,200 円となる。経常増減額はマイナス 3,716,200 円ほどとなり、今後の会員の増強を図っていかないと厳しい状況にある。

2 月 7 日に、令和 7 年度事業予算、令和 6 年度事業決算について、尾澤会計事務所と打合せ確認を行い、別紙に示すような指摘を受けた。令和 7 年 4 月改正の公益認定法、公益法人会計基準等に関連して、収支相償は単年度で必ず収支が均衡することを求めるのではなく、中長期で収支が均衡することが確認できれば良い。また、特定費用準備金は、従来技術展用に積み立てていたが、技術展は行わないことになると、特定費用準備金を積み立てる理由がなくなってしまうことが懸念される。これについては、JATET フォーラムを実施する中で、セミナーに関連した展示も行うことも計画することを、事務局として内閣府に説明することは可能と答えている。

会費収入だけでは事業や間接費が賄いきれず、収益事業や法人会計の利益を公益に回しても足りない状況が続いている。直接費は事業で稼ぎ出せることが必須となる。当期経常増減額のマイナスをどこまで減らせるかが鍵。収支トントンで初めて協会は存続できる。

対策例として会費の値上げ、人件費の削減、家賃を減らす、事業収益を増やすの 4 点が挙げられている。事務局としては、会費値上げではなく、会員を増やす方策の検討実施や、会員種を増やすことなどの検討を考えている。人件費の中で見直すとすれば、役員報酬の減額くらいではないかと思う。家賃については、2 年毎の契約更新の中で古川商事さんのご厚意もあり、私が事務局長になって以降、値上げはされていないこともあり、難しいと考えている。事業収益を増やす目的で、来期以降の JATET フォーラムの参加費アップ、施設見学会の資料代の見直しとして、来季から会員 3,000 円、一般 4,000 円にアップすることを検討している。また、収益事業としての JATET 誌の印刷部数と配送費の削減は 95 号以降について検討済みとなっている。

令和 7 年度事業予算の他に、今年度の事業決算についても見込みの作業を行った。3 月末時点で万一公益事業比率が 50%以上に満たない場合は、特定費用準備金の積立が必要になる。

現時点の試算では、100 万円～200 万円の幅で積み立てる可能性があるため、令和 9 年度の JATET フォーラム用として、3 月末時点の数字を見て判断したいと考えており、こちらも併せて審議をお願いしたい。

中川専務理事の説明の後、第 2 号議案 令和 7 年度事業予算の件について審議に入り、特定費用準備金積立の可能性も含めて、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件 資料-なし
中川専務理事より第 3 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件について説明があった。

定款では、

(書面表決等)『第 21 条 社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によってその議決権を行使することができる。』

2 前項の代理人は、代理権を証する書面を会議ごとに提出しなければならない。

3 第 1 項の場合における前 2 項の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。

4 社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、理事会の決議によらなければならない』とあるので、本理事会で承認をお願いしたい。

中川専務理事の説明の後、第 3 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 令和 7 年度資金運用計画の件 資料-3

中川専務理事より資料-3 に基づき、第 4 号議案 令和 7 年度資金運用計画の件について説明があった。

令和 7 年の資金運用方針は、例年通り当協会の現預金保有状況、令和 7 年度事業計画に鑑み、運用収益を積極的に求める運用は行わず、日々の入出金の確実な管理と資金の保全に重点を置いた資金運用とする。そのため、取引先の金融機関、三菱 UFJ、みずほ、ゆうちょの 3 銀行の普通預金・定期預金での運用を原則とする。

2025 年 1 月 31 日現在の現預金残高は、方針書に示したとおりであり。残高合計は、7,994,137 円となっている。

中川専務理事の説明の後、第 4 号議案 令和 7 年度資金運用計画の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 JATET 誌 96 号、97 号の件 資料-4

中川専務理事より資料-4 に基づき、第 5 号議案 JATET 誌 96 号、97 号の件についての説明があった。

JATET 誌は毎年、夏号と冬号として、9 月末、2 月末頃に 2 号を発行しているが、冬号の発行時期について事業執行連絡委員会の中で議論があった。通常、冬号では年度の部会報告記事を掲載しているが、原稿執筆依頼の時点では各部会活動の途中であり中途半端な見込み記事になってしまうことがあり、2 月末を原稿の期限として新年度 4 月に発行する件について意見交換した。その結果、発行時期を 4 月の新年度初頭として、前年度の部会報告と部会計画の発表をするのが、機関誌としても相応しいということになった。

事業予算のところでも話したが、来年度は 1 号の発行となる。再来年度以降については、毎年 2 号の発行をしていくことになる。96 号は、2 月に開催した JATET フォーラムの総括と、各部会からの話題提供に併せた特集を組む予定としている。

また、JATET 誌の編集について外部から編集者を入れる件について、広報部会より提案と

紹介があり、12月24日に広報部会長と事務局で、外部編集候補者の方と打合せを行った。JATET誌95号については現体制で進めることとして、96号以降は新しい編集者の元で誌面の充実を図っていきたいと考えている。従来、編集レイアウトをお願いしていたテトラロジックスタジオとは打合せの上、了解済み。編集費については、あまり巨額の費用をかけることも出来ないので、新編集者とはこれまでJATET誌の発行にかけてきた編集費、印刷費、経費を合わせた費用の8割程度のトータルグロスで収めるように要請しており、新年度に入ったら96号についての見積提出をお願いしている。

中川専務理事の説明の後、第5号議案 JATET誌96号、97号の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第6号議案 事務局職員採用の件

資料-5

中川専務理事より資料-5に基づき、第6号議案 事務局職員採用の件についての説明があった。

現在アルバイトとして勤務している古池千恵子さんの履歴書を示す。古池さんは2013年から10年以上、アルバイトとして事務局で勤務しているがこの度、可能であれば正職員として勤務できないかと希望があった。

現在、職員として望月さんと中川の2名で事務局運営をしているが、以前のように3名体制とすることが必要とも考えている。古池さんの仕事ぶりは申し分なく、メール問合せの返信対応や望月さんの業務フォローなどを行なってもらっている。

1月31日に伊東会長、総務担当の市瀬副会長の面接を行い、お二方には了解いただいている。

中川専務理事の説明の後、第6号議案 事務局職員採用の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第7号議案 (株)ハンイル・ティエンシー 賛助会員A入会の件

資料-6

中川専務理事より資料-6に基づき、第7号議案 (株)ハンイル・ティエンシー 賛助会員A入会の件についての説明があった。

11月28日付で入会申込書が届いている。

2月14日に開催されたJATETフォーラムでは、(株)ハンイル・ティエンシーから機構部会セミナーの講師として、韓国舞台機構の今と題した発表をいただいた。

中川専務理事の説明の後、第7号議案 (株)ハンイル・ティエンシー 賛助会員A入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第8号議案 賛助会員A愛知県舞台運営事業協同組合 退会の件

資料-7

中川専務理事より資料-7に基づき、第8号議案 賛助会員A愛知県舞台運営事業協同組合 退会の件についての説明があった。

12月18日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 賛助会員A愛知県舞台運営事業協同組合 退会

の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 9号議案 賛助会員 A (株) 永田音響設計 和田 竜一氏
音響部会入部の件**

資料-8

中川専務理事より資料-8に基づき、第9号議案 賛助会員 A (株) 永田音響設計 和田 竜一氏 音響部会入部の件についての説明があった。

12月3日付で部会入部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、第9号議案 賛助会員 A (株) 永田音響設計 和田 竜一氏 音響部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

【追加審議事項】

第 10号議案 ラディックス社 Alrit サーバーの契約更新の件

資料-9

中川専務理事より資料-9に基づき、第10号議案 ラディックス社 Alrit サーバーの契約更新の件についての説明があった。

現在、ラディックス株式会社の Alrit サーバーを使用して、データ共有を行なっているが、このところ大量の迷惑メールを受信するようになり、ラディックス社に相談した。

メールは IDC フロンティア (Zenlogic) のメールサーバーを利用しておりラディックスとは関係ないが、ラディックスのメールセキュリティ強化について提案を受けた。

併せて、現在使用している共有サーバー Alrit4-M の後継機種 Alrit-6 への更新の提案を受けた。メールセキュリティ強化の対応には月額 20,000 円以上負担額が増えるので、今後 Zenlogic 側と可能な対応について相談することとし、今回は共有サーバーの更新について審議をお願いしたい。別紙に Alrit 4 と 6 の比較表を示すが、容量が 2TB から 4TB となり、機能が強化される。サーバーリース料金は現在と同じ金額で 17,200 円となり、保守料金などを含めた月額合計は 25,150 円となる。

中川専務理事の説明の後、第10号議案 ラディックス社 Alrit サーバーの契約更新の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 74 回定例理事会開催日程について

第 74 回定例理事会は、令和 7 年 4 月 22 日 (火) 14 : 00 からの開催予定とする。

2) 閉会

15 時 53 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和7年2月28日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第73回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 伊東正示）	伊東正示	
監事（尾澤輝行）	欠席	印
監事（間瀬勝一）	欠席	印
議事録作成署名人（西村 岩夫）	西村 岩夫	

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 監事（理事会への出席義務等）第百一条第1項において、監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは意見を述べなければならないとあるが、今回の理事会において監事全員が欠席となったため、監事の欠席理由を明確に示すこととする。

欠席理由（尾澤監事）： 寿まち子の病院・付添いにより
欠席させて頂きました。

欠席理由（間瀬監事）： 体調急変により通院加療の旨、欠席させて頂
きました。